

大阪市立大学

OSAKA CITY UNIVERSITY

—2017—

外国人留学生のしおり

Guidebook for international students



国際センター/Global Exchange Office

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号
3-3-138 Sugimoto Sumiyoshi-ku, Osaka-shi 558-8585
(Tel : 06-6605-3558)

はじめに

留学生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

自国とは言語・文化・風俗・習慣が異なる日本において、いよいよ留学生活が始まります。この冊子は、大阪市立大学に入学された留学生が留学生活を送るうえで、ぜひ知っておいて欲しい事項を掲載したものです。よく読んで、充実した留学生活を送るための一助として活用し、本学で、留学目的を達成されるよう期待します。

- ◎ 「全学共通科目シラバス・履修案内」（学部学生用）、「学部・研究科履修要覧」、「学生生活ガイド」などもよく読んでください。
- ◎ 学生ポータルサイトは毎日確認してください。
- ◎ 学内外で催される諸行事の通知、奨学生の募集など大学から留学生への連絡・通知は、国際センター掲示板と全学ポータルサイトに掲示します。ここで掲示された事項は周知されたものとみなし、見なかったことにより生じる不利益は、学生自身の責任となります。

<留学生限定情報>

全学ポータルサイト⇒ ▶お知らせ ⇒ 右横の「発行部署」から国際センターを選択

国際センター掲示板

8号館2階

目 次

I 大阪市立大学での修学

1 大阪市立大学の概要

(1) 大阪市立大学の概要	6
(2) 大学・大学院	6
(3) 学年暦	7
(4) 休業日	7

2 外国人留学生の窓口・相談先

・ 諸届提出先及び諸証明発行の窓口一覧	8
---------------------	---

3 授業料等

(1) 納付について	9
(2) 授業料減免制度	9

4 奨学金制度

(1) 日本政府国費外国人留学生制度	9
(2) 私費留学生各種奨学金	9

5 留学生支援プログラム

(1) チューター制度	14
(2) 「日本語」・「日本事情」の開講(対象：学部学生)	14
(3) 日本語補講	14
(4) 留学生のための各種行事	14
(5) 文化施設特別入場証の交付サービス	15
(6) 帰国留学生へのアフターケア	15

6 健康管理

(1) 定期健康診断	15
(2) 国民健康保険と医療費	15

7 諸施設の利用について

16

8 学内の諸施設

(1) Global Village	16
(2) 留学生談話室 本館地区第2学生ホール2階	16
(3) 学術情報総合センター(図書館)	16
(4) 保険管理センター：健康相談・健康診断、カウンセリングルーム	16
(5) 課外活動施設の利用	16
(6) 大阪市立大学生生活協同組合	17
(7) 現金自動預払機(ATM)	17

II 日本入国から帰国(出国)までの各種手続き

1 査証(ビザ)及び在留手続き

(1) 在留資格の取得	20
(2) 在留資格の変更	20
(3) 在留期間の更新	20
(4) 一時出国及び再入国	21
(5) 在留資格外活動とアルバイト	22
(6) 家族の呼び寄せ	23
(7) 卒業後も継続して就職活動を行う場合の手続きについて	23

(8) 旅券（パスポート）	23
2 在留管理制度		
(1) 登録事項に変更が生じた場合	24
(2) 紛失等による在留カードの再交付申請	25
(3) 在留カードの返納について	25
3 市役所・区役所関連手続き		
(1) 国民年金への加入	25
(2) 社会保障・税番号（マイナンバー）	25
4 帰国に際して		
(1) 学内での手続き	26
(2) 学外での生活上の手続き	26
Ⅲ 日本での生活		
1 住居		
(1) 留学生用宿舎	28
(2) 民間住宅	28
(3) 留学生向け住宅機関保証について	28
(4) その他	29
2 「引越し」に際して	29
3 生活情報		
(1) 電気	31
(2) ガス	31
(3) 水道	31
(4) ゴミの処理	32
(5) 交通	32
(6) 電話	32
(7) 銀行	33
(8) 郵便	34
(9) 宅配便	34
(10) 買い物	35
(11) 新聞	35
(12) テレビ・ラジオ	36
(13) 運転免許と自動車・自転車	36
4 緊急時の対応		
(1) 急病の時	37
(2) 火災	38
(3) 交通事故	40
(4) 盗難	40
(5) 地震	41
(6) 台風	42
Ⅳ 各種申請届出書類等		
○ 各種様式	45
Ⅴ その他参考事項		
○ 大阪入国管理局 所在地案内図	52
○ (財)大阪国際交流センター・(財)大阪府国際交流財団 所在地	53
○ キャンパスマップ(杉本・阿倍野・梅田サテライト)	54
○ 留学生談話室・留学生交流室	55
○ 各学部所在地・電話番号等	56

I 大阪市立大学での修学

この章では、大阪市立大学で学ぶ留学生の皆さんが、快適に学習や研究活動に励めるよう、本学での修学に必要な情報を紹介しています。

1 大阪市立大学の概要

(1) 大阪市立大学の概要

【沿革】

■第1の源流

明治13年11月15日に大阪商業講習所開所。明治18年、府立大阪商業学校としてスタートし、明治22年大阪市の誕生とともに「市立大阪商業学校」となる。昭和3年に大阪商科大学となる。

■第2の源流

明治41年に市立大阪工業学校が創設され、その後大阪市立都島工業専門学校と名称が変更される。

■第3の源流

大正10年に大阪市立西区高等実修女学校設置。大阪市立高等西華女学校へ改称。のち大阪市立女子専門学校となる。

■第4の源流

昭和19年大阪市立医学専門学校が設立され、昭和27年には、新制の大阪市立医科大学として開学する。大阪商科大学、大阪市立都島工業専門学校、大阪市立女子専門学校を母体として、昭和24年の学制改革により、商学部・経済学部・法学部・理工学部・家政学部の5学部からなる新制総合大学として、大阪市立大学は発足した。同年9月大阪市経済研究所（昭和3年設置）が大阪市から大阪市立大学に移管されて、大学附属の研究所となった（平成18年独立法人化の際に廃止）。

昭和28年には、大阪市立大学大学院が創立され、経営学・経済学・法学・文学・理学・工学・家政学の7研究科修士課程及び経済学・法学の2研究科博士課程が設置された。また同年、法学部が法学部と文学部に、昭和34年には、理工学部が理学部と工学部にそれぞれ分離独立した。そして、昭和30年には、新制大阪市立医科大学を編入して医学部とした。その後、昭和50年には家政学部を生活科学部と改称した。

平成10年には、看護短期大学部を併設した。平成15年には、大学院創造都市研究科が、平成16年には、医学部に看護学科及び大学院法学研究科に法曹養成専攻（ロースクール）が、さらに平成20年には大学院看護学研究科がそれぞれ設置された。

このように大阪市立大学は、8学部・大学院10研究科を有するわが国最大規模の公立総合大学となった。

(2) 大学・大学院

【大学】 8学部

商学部・経済学部・法学部・文学部・理学部・工学部・医学部・生活科学部

【大学院】 10研究科

経営学研究科・経済学研究科・法学研究科・文学研究科・理学研究科・工学研究科
医学研究科・看護学研究科・生活科学研究科・創造都市研究科

(3) 学年暦（2017年度）

月	日	行 事 内 容
4月	1日	学年開始
	3日	留学生のためのオリエンテーション 学部ガイダンス、Web履修登録（学部：～5日） （大学院：～11日）
	5日	入学式 人権問題ガイダンス、学生生活全般オリエンテーション
	7日	入学手続関係書類提出 定期健康診断（新入生）
	10日	前期授業開始（～7月21日）
	中旬	定期健康診断（在学生）
	20日	新入生歓迎祭（～22日） ※21日 新入留学生歓迎交流会
6月	1日	大阪市立大学 創立記念日（授業実施）
7月	24日	前期試験（学部 ～8月4日）
8月	5日	夏季休業（～9月15日）
9月	16日	研修期間（～30日）
10月	2日	後期授業開始（～2月13日）
11月	2日	大学祭（～5日）
12月	23日	冬季休業（～1月8日）
1月	30日	後期試験（学部 ～2月13日）
2月	14日	研修期間（～3月19日）
3月	20日	春季休業

※学年暦は予定のため、変更になる場合があります。

(4) 休業日

- ◎ 土・日曜日
- ◎ 年末年始（12月29日～1月4日）
- ◎ 国民の祝日（国民の祝日に関する法律（祝日法）より）

1月1日	元旦	年の始めを祝う
1月第2月曜日	成人の日	大人になったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝い、はげます
2月11日	建国記念の日	建国をしのび、国を愛する心を養う
3月21日	春分の日	自然をたたえ、生物をいつくしむ
4月29日	昭和の日	激動の日々を経て復興を遂げた昭和の時代を顧み国の将来に思いをいたす
5月3日	憲法記念日	日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する
5月4日	みどりの日	自然に親しむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心をはぐくむ
5月5日	こどもの日	こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する
7月第3月曜日	海の日	海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う
8月11日	山の日	山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する
9月第3月曜日	敬老の日	多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う
9月23日	秋分の日	祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ
10月第2月曜日	体育の日	スポーツにたししみ、健康な心身をつちかう
11月3日	文化の日	自由と平和を愛し、文化をすすめる
11月23日	勤労感謝の日	勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう
12月23日	天皇誕生日	天皇の誕生日を祝う

※ 祝日と日曜日が重なる場合は、翌日の月曜日が休日（振替休日）になります。

2 外国人留学生の窓口・相談先

【学内】

- (1) **学生サポートセンター**
(各学部・研究科教務担当)
 学部、大学院などの授業に関すること

- (2) **国際センター**
- ① 学習・日常生活のすべてに関すること
 - ② 授業料減免・奨学金に関すること
 - ③ チューターに関すること
 - ④ 上野芝留学生宿舎・その他住居に関すること
 - ⑤ 留学生関係施設の使用に関すること

◎ 諸届提出先及び諸証明発行窓口一覧

事 項		取 扱 窓 口	適 要
教 務 関 係	休 学 届 保 証 人 変 更 届 住 所 変 更 届 退 学 願 追 試 験 願 学 生 証 再 交 付 願	学生サポートセンター (各学部・研究科教務担当)	① 事由発生の際は、速やかに手続きすること。 ② 「全学共通科目シラバス・履修案内」、「学部・研究科履修要覧」をよく読んでおくこと。
	在 学 証 明 者 成 績 証 明 書 卒 業 見 込 証 明 書 卒 業 証 明 書 健 康 診 断 証 明 書	(証明書自動発行機設置場所) ・学生サポートセンター ・学術情報総合センター 1Fエントランス ・医学部学舎1F ・創造都市研究科 梅田サテライト	① 証明書自動発行機にて有料交付 (1通100円 *健康診断証明書は 1通200円) ② 健康診断証明書発行には定期健康診断を受けておく必要があります
諸 証 明	国 費 留 学 生 証 明 書 奨 学 金 受 給 証 明 書 授 業 料 減 免 証 明 書 留 学 生 各 種 変 更 届 一 時 出 国 届 資 格 外 活 動 報 告 書	国際センター	① 各証明書は、1通につき100円の手数料がかかります。所要日数は1日(申請日の翌日13時以降に受け取り可)です。

【学外】

公益財団法人大阪国際交流センター 情報企画課
所在地 : 大阪市天王寺区上本町 8-2-6
※地図等は付録 68 ページを参照
電話 : 06-6773-8182
<http://www.ih-osaka.or.jp/>

3 授業料等

(1) 納付について

入学試験の受験、入学および大学で授業を受けるためにはそれぞれ①～③を支払う必要があります。ただし、国費留学生及び大学・学部(研究科)間で授業料を相互に不徴収とする国際学術交流協定に基づいて受け入れられた短期留学生である場合は、支払う必要はありません。

- ① 入学検定料 入学試験出願時に支払います。
- ② 入学料 入学手続き時に支払います。
- ③ 授業料 年2回(前期・後期)に分けて、それぞれ5月と10月に支払います。もし、授業料の改定が行われた場合は、改定後の金額を納付します。

入学検定料と入学料はそれぞれ手続き時に1回支払うだけですが、授業料は在籍する期間ごとに支払わなければなりません。

(2) 授業料減免制度

経済的な理由により授業料納付が困難であり、学力基準を満たす私費留学生(正規課程に在籍する者)は、本人の申請に基づき、学内選考のうえ、授業料の減額または、免除される制度があります。

- ① 対象 : 正規課程に在籍する私費外国人留学生(外国政府派遣留学生は除く)
- ② 申請 : 4月中旬(3月に詳細を全学ポータルサイト及び掲示板でお知らせします。)
- ③ 減額額 : 授業料の全額、半額、または3割
- ④ 問い合わせ先 : 国際センター

必ず申請者自身が必要な書類を取り揃えて、所定の期日に提出してください。

期限を守らなかった場合は申請を受理できませんので、十分注意してください。

提出書類や学業成績などを厳正に審査し、選考の結果減免または免除される者が決定されます。なお、本制度は予算の範囲内で実施のため、必ずしも全員に減免が認められるわけではありませんので、ご了承ください。

4 奨学金制度

(1) 日本政府国費外国人留学生制度

日本政府(文部科学省)の奨学金を受けている国費留学生の場合は、月額146,000円(研究生)、月額147,000円(前期博士課程)、148,000円(後期博士課程)が給付されます。(金額については2017年3月現在であり、今後改訂されることがあります。)

(2) 私費留学生各種奨学金

私費留学生にとって、日本での生活費を確保することは大変なことです。誰もがアルバイトの時間を極力減らし学業に専念するために奨学金を獲得したいと願っていますが、奨学金の受給は競争が激しく、現実は大変厳しいことを承知しておください。

奨学金には大学が推薦するものと本人が直接財団に応募するものがあります。

大学推薦のものは、学内選考を経て国際センターから募集先の財団等に推薦します。大学

推薦の奨学金に応募するには、4月に「各種奨学金希望調書」を提出しておく必要があります。奨学金の募集要項と応募手続きは、全学ポータルサイトと国際センター掲示板でお知らせします。（また、応募条件によっては国際センターから直接本人にお知らせする場合もあります。）見落としの無いよう注意して、必ず定められた期限内に手続きを行ってください。

▼留学生の皆さんが現在応募できる奨学金として、次のようなものがあります。

（以下記載の金額等については2017年3月現在であり、今後改訂されることがあります。）

① 公的団体（日本政府、日本学生支援機構）の奨学金

奨学金名称	対象者	支給期間	募集時期	支給額（月額）
文部科学省 国費外国人留学生（国内採用） ※募集停止中	大学院生 大学院進学予定の者	最短 修業年限	11月	¥147,000（修士） ¥148,000（博士）
私費外国人留学生学習奨励費 （日本学生支援機構）	学部生・大学院生 「各種奨学金希望調書」 提出の学生から選考	1年間	5月	¥48,000

② 本学独自の奨学金

奨学金名称	対象者	支給期間	募集時期	支給額（月額）
大阪市立大学大学院 浦上奨学金	大学院各課程の1年目に 在籍する女子留学生	一時金	12月	¥100,000

③ 民間奨学団体や地方公共団体などの奨学金

奨学金の額は月額3万円から15万円程度までさまざま、財団によってそれぞれ応募資格・募集人員なども異なります。また、毎年募集が行われている奨学金の情報は、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）のホームページ <http://www.jasso.go.jp/> で得ることができるので参考にしてください。

各種団体名等	対象者		支給期間	募集時期	金額（月額）
	学部生	大学院生			
ナインティナイン・アジア 留学生奨学基金	○	○	最短 修業 年限	4月	学部生・大学院 生 ¥50,000

各種団体名等	対象者			支給 期間	募集 時期	金額(月額)
	学 部 生	大 学 院 生	条件 (国籍、専攻、年齢等)			
滝崎記念アジア留学生 奨学基金	○		・アジア諸国の国籍 ・理工系分野を専攻する者	最短 修業 年限	4月	¥50,000
ドコモ留学生奨学金		○	・アジア諸国の国籍 ・修士課程1年生 ・通信技術、情報処理 技術及びこれらに関連 する分野を専攻する者 ・人文・社会科学等の 部門を専攻する者で、 研究に「通信や情報処 理」が活用されると認 められる者。	2年間	4月	¥120,000
JEES 日本語教育普及 奨学金	○	○	・協会実施の日本語教 育能力検定のうちいず れかに合格した者 ・応募時に学部1～3 年生・前期博士課程1 年生または後期博士 課程1・2年生(医は3 年生も可)	2年間	4月	¥50,000
岡畑清風奨学金	○		・応募時に学部1年生 ・理工・工学・化学系学 部に在籍する者 ・東アジア・東南アジア 国籍の者	最短修 業年限	4月	¥40,000
山本猛夫記念奨学基金	○			最短修 業年限	4月	¥30,000
日揮・実吉奨学会	○	○	理工系学科を専攻する 者	1年間	4～11月	年額 ¥250,000
ロータリー米山 記念奨学会	○	○	・45歳未満の者 ・学部3・4年、大学院修 士(前期博士)1・2年、博 士(後期博士)2・3年に在 籍する者	最長 2年間	9月	学部生 ¥100,000 大学院生 ¥140,000
平和中島財団(中島健 吉記念奨学金)	○	○		1年間	9月	学部生 大学院生 ¥100,000

各種団体名等	対象者			支給期間	募集時期	金額(月額)
	学部生	大学院生	条件 (国籍、専攻、年齢等)			
大遊協 国際交流・援助・研究協会	○	○	・大阪府下に居住 ・申請時に学部・大学院1年生	最短修業年限	10月	学部生 ¥50,000 大学院生 ¥70,000
市川国際奨学財団奨学金	通常募集	○	・アジア諸国の国籍 ・35歳未満	2年間	12月	学部生・大学院生 ¥100,000
	10月度募集	○	・アジア諸国の国籍 ・25歳未満	1年間	8月	¥100,000
共立国際交流奨学財団	○	○	・アジア諸国の国籍 ・申請時に学部1・2年生 または博士課程1年生	1年間 もしくは 2年間	11月	学部生 ¥60,000 もしくは ¥100,000 大学院生 ¥100,000
豊田通商留学生奨学金	○	○	・申請時に学部2年生、 大学院修士(前期博士)、 博士(後期博士)に在籍する者 ・社会科学、人文科学、 理工学を専攻する者	2年間	10月	学部生・大学院生 ¥100,000
三菱商事留学生奨学金	○	○	・学部生3・4年	最短修業年限	11月	学部生 ¥100,000 大学院生 ¥150,000
川嶋章司記念スカラーシップ	○	○	人文・社会・自然諸科学を専攻する者。	2年間	10月下旬	¥100,000
服部国際奨学財団	○	○	・ASEAN 諸国の国籍 ・学部生 30歳未満 ・修士(前期博士)課程 35歳未満 ・博士(後期博士)課程 40歳未満	2年間	12月	学部生 大学院生 ¥100,000

各種団体名等	対象者			支給 期間	募集 時期	金額(月額)	
	学部 生	大 学 院 生	条件 (国籍、専攻、年齢等)				
安田奨学財団	○		応募時に法学、経済学・経営学及び商学分野の学部で学ぶ1年生	最長 3年間	11月	¥100,000	
朝鮮奨学会	通常 募集	○	○	・国籍が韓国または朝鮮である者。 ・学部生 30歳未満 ・大学院生 40歳未満	1年間	3月下旬	学部生 ¥25,000 大学院生(前期博士) ¥40,000 大学院生(後期博士) ¥70,000
	大学 1年生	○		・国籍が韓国または朝鮮である者。 ・学部生 30歳未満 ・高校3年次の成績が5段階で原則3.2以上であること	1年間	6月中旬	¥25,000
JT アジア奨学金		○		・アジア諸国の国籍 ・35歳未満	最長 2年間	10月	¥150,000
西村奨学財団	○	○		・南西・東南・東アジア諸国及び地域の国籍を有する者	最長 2年間 (後期博士は 最長 3年間)	4月	¥120,000
大塚敏美育英奨学財団		○		・経営学および工学(工学は医学・薬学に関連する分野に限る)に関連する分野を研究している者	1年間	10月	年額 ¥2,000,000 ¥1,500,000 または ¥1,000,000
藤井国際奨学財団	○	○		・アジア諸国の国籍	最短修 業年限	9月	¥50,000
佐藤陽国際奨学財団	○	○		・ASEAN 諸国及び南西アジア諸国の国籍	2年間	11月	学部生 ¥150,000 大学院生 ¥180,000

各種団体名等	対象者			支給 期間	募集 時期	金額(月額)
	学 部 生	大 学 院 生	条件 (国籍、専攻、年齢等)			
SGH 財団	○	○	・東南アジア諸国国籍 ・学部3年生 ・大学院博士課程2年生(医は3年生) ・学部生 27歳未満 ・大学院生 35歳未満	2年間	3月	¥100,000

※上記以外の奨学金の募集もありますので、随時、全学ポータルサイトと掲示板を確認してください。
 ※上表は2017年3月1日現在のものです、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

5 留学生支援プログラム

(1) チューター制度

留学生にとって日本人学生と同じように勉強するのは大変なことです。本学では外国人留学生に日本語能力や基礎学力を補充して、学習上の援助をおこなうとともに、日常生活の助言などをおこなうため、チューター制度を設けています。

期間は、原則として大学に入学した最初の半年です。(状況により延長が可能な場合もあります。)

★ 問い合わせ先：国際センター 06-6605-3558

(2) 「日本語」・「日本事情」の開講(対象：学部学生)

留学生の日本語能力の向上や日本理解の促進に役立つよう、「日本語」・「日本事情」を開講しています。単位の取得が可能です。

★ 問い合わせ先：学務企画課 共通教育担当

(3) 日本語補講

日本語能力の向上を目指す留学生を対象として、日本語補講を実施しています。(ただし、正規科目ではありませんので、受講しても単位の取得はできません。)

※平成28年度は、毎週月曜3・4時限目に開講

また無料で教材の貸出もおこなっています。

★ 問い合わせ先：国際センター 06-6605-3558

(4) 留学生のための各種行事

日本文化・歴史・自然等に触れる機会として「日帰り研修」、留学生と教職員・留学生支援関係者との交流親睦をはかるために「学生国際交流会」などを開催しています。これら大学主催の行事や各種留学生支援団体主催行事のほか、大阪国際交流センターでは、留学生が日本や大阪の文化に触れられるよう、さまざまな文化事業への招待を行っています。

各種行事の募集や通知は、その都度全学ポータルサイトと国際センター掲示板に掲示しますので、多くの行事に参加し、留学時代の良き思い出としてください。

(5) **文化施設特別入場証の交付サービス**

大阪府内の史跡、美術館、博物館などに無料で入ることができる特別入場証があります。在留資格が「留学」となっている全ての正規留学生に交付されます。交付は、5月ごろに所属学部・研究科を通じて行われます。

(6) **帰国留学生へのアフターケア**

卒業・修了留学生名簿を作成しますので、卒業後の勤務先、住所等が決まりましたら、国際センターにお知らせください。

6 健康管理

健康は、快適な留学生活を送るための必要条件です。留学生の皆さんは、慣れない環境で体調をくずしがちです。少しでも具合が良くないと思ったら、早い時期に保健管理センター(杉本キャンパス内)で相談するか、医師の診断を受けるようにしてください。

(1) **定期健康診断**

大学では、毎年春(新入生は入学手続き日、在生は4月中旬)に定期健康診断を実施しています。この定期健康診断は必ず受診してください。これに基づいて、奨学金、留学生宿舍入居などの申請に必要な「健康診断証明書」を発行します。

(2) **国民健康保険と医療費**

国民健康保険制度は、医療費の負担を軽くするために、加入者が掛け金を出し合い、医療費にあてようとする相互扶助を目的とした全国的な制度で、各地方自治体はその事務を取り扱っています。3か月以上日本に滞在する留学生は、すべて(同伴家族も含む)国民健康保険への加入が義務付けられています。

加入者は保険料(税)を支払わなければなりません。この保険によって治療費や入院費の30%を負担するだけで済むのです。医療機関に行く時には必ず国民健康保険被保険者証を持って行き、窓口で提示してください。この保険は、通常、海外旅行傷害保険では対象外とされる歯科疾病・慢性疾患や出産費にも適用される部分があります。

加入手続きは在住の市(区)町村の国民健康保険担当課で行いますが、この時には「パスポート」、「在留カード」、「印鑑」(お持ちの方)の提示が必要です。また、前年の収入が基準額以下の場合には、保険料(税)の減額申請もできますので、在住の市(区)町村の国民健康保険担当課の窓口でお問い合わせください。

- ① 在留期間3か月以上の留学生は、「国民健康保険」に加入しなければなりません。
- ② 加入手続きは、居住している区役所(大阪市内・堺市内など)、市町村の国民健康保険課で行ってください。
- ③ 国民健康保険に加入するには、保険料(税)を払う必要があります。
ただし、留学生の場合「所得」が無いことを申告すれば、保険料が減額されます。窓口で相談してください。
- ④ 入院等で医療費が高額になった場合、「国民健康保険」から「高額療養費」として、払い戻しの制度があります。窓口で相談してください。

7 諸施設の利用について

(1) Global Village 全学共通教育棟1階

【月曜日～金曜日 09:00～18:00、利用時間の延長、土・日・祝日の利用も可能。但し、要申請】

大阪市立大学 Global Village では、国際交流に興味がある人が集まり、イベントの開催や情報交換をしています。海外留学や旅行をしてみたい人、すでに留学をしてその経験を活かしたい人、その他インターナショナルな雰囲気を楽しみたい！という人は是非 Global Village にお越しください。

Global Village をイベントや会議に使用したい時は、申請書を提出してください。（申請書はポータルサイトからダウンロードできます。）また、申請すれば、夕方（18:00以降）や休日の利用も可能です。

URL：<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/international/global-village>

(2) 留学生談話室 本館地区第2学生ホール2階

留学生談話室では、次のとおりイスラム礼拝時間を設けています。

12:00-14:00、15:30-16:30、18:00-19:30

イスラム礼拝時間の利用には、初回に国際センターでの登録が必要です。

問い合わせ先：国際センター(06-6605-3558)

Cf. 関西研修センター（ハラルフードの提供）

杉本キャンパス付近の関西研修センターの食堂では、ハラル食を提供しています。

URL：<http://www.hida-japan.or.jp/jp/center/about/kkc.html>

(3) 学術情報総合センター(図書館)

杉本キャンパスに学術情報総合センターが、医学部・医学研究科のある阿倍野キャンパスに学術情報総合センター医学分館があります。センター及び医学分館の利用には磁気カード（学生証あるいは学術情報総合センター専用カード）が必要です。

開館時間及び休館日等は学術情報総合センターの掲示やホームページを参照ください。

★ 問い合わせ先：学術情報総合センター運営課 06-6605-3240

学術情報総合センター医学分館 06-6645-3491

URL：<http://www.media.osaka-cu.ac.jp/index.html>

(4) 保健管理センター：健康相談・健康診断、カウンセリングルーム

保健管理センターでは、学生の健康を守るため健康上のさまざまな相談、診療、応急措置及び学生の健康診断に取り組んでいます。健康上のことなら、なんでも相談してください。診療は内科のみですが、内科以外の病気や怪我でも対応します。症状によっては、他の医療機関を紹介します。また、カウンセリングルームでは、カウンセラーが皆さんのメンタルヘルスの維持や悩み事の相談にも応じています。

★ 問い合わせ先：保健管理センター 06-6605-2108

(5) 課外活動施設の利用

体育館や運動場などの課外活動施設は、体育実技の授業の他、課外活動サークルとして登録されている場合には許可を受けて利用することができます。

★ 問い合わせ先：学生サポートセンター（学生支援課 厚生担当） 06-6605-2103

(6) 大阪市立大学生生活協同組合

① 食堂

キャンパス内の学生食堂は、杉本キャンパスでは本館地区に学生食堂とメタセコイア(田中記念館1階)、旧教養地区にも学生食堂、学術情報総合センター1階に野の花ハウスの4箇所があります。阿倍野キャンパスには1箇所の食堂があります。営業日は土・日・祝日を休業とし、夏・冬・春の長期休業日には別途休業しますので、注意してください。

② 売店

キャンパス内の売店は、杉本キャンパスでは本館地区で1箇所、旧教養地区で1箇所あります。阿倍野キャンパスにも1箇所あります。営業日は上の食堂と同じく土・日・祝日は休業とし、夏・冬・春の長期休業日には別途休業しますので、注意してください。

★ 問い合わせ先：生活協同組合総務部 06-6605-3011 <http://osaka-cu.hanshin.coop>

※医学部付属病院内には、食堂、コンビニエンス・ストア等があります。

(7) 現金自動預払機 (A T M)

杉本キャンパスでは、学術情報総合センター1階に大阪市信用金庫と三井住友銀行のA T Mがあります。

阿倍野キャンパスにも、附属病院B1Fに大阪市信用金庫のA T Mがありますので、利用してください。

Ⅱ 日本入国から帰国(出国)までの各種手続き

この章では、本学で学ぶこととなった留学生の皆さんが、日本に入国してから帰国(出国)するまでの各種手続きについて紹介しています。

1 査証(ビザ)及び在留手続き

在留資格とは

出入国管理及び難民認定法第22条の2で定められている在留資格をいいます。
留學生の場合は、原則、「留学」という在留資格になります。

(1) 在留資格の取得

到着した空港(海港)では、入国審査官が旅券は有効か、有効な査証を取得しているか、その他入国目的、滞在予定期間などについて審査を行います。その結果、入国(上陸)が許可されると、在留資格と在留期間が決定され、「上陸許可」の印が旅券面に押されます。

(2) 在留資格の変更

現在認定されている在留資格を変更しようとする場合は、最寄りの入国管理局で在留資格の変更許可を受けなければなりません。ただし、変更は、申請すれば必ず許可されるというものではありません。

大学の留學生の在留資格は原則として「留学」になっています。(奨学金応募、宿舍の入居手続きには、在留資格「留学」が必要です。)

【提出書類】

- ① 在留資格変更許可申請書(用紙は入国管理局にあります。また、入国管理局のホームページからダウンロードできます。)
- ② 手数料4,000円
- ③ 入学許可書または在学証明書(証明書自動発行機で発行します。)
- ④ 研究内容が記載された証明書または聴講科目及び時間数が記載された履修届写し等の証明書(研究生及び研修生)
- ⑤ 旅券(パスポート)または在留資格証明書【提示】
- ⑥ 写真(縦4cm×横3cm)1枚
写真の裏面に氏名を記入し、申請書に添付して提出)
- ⑦ 資格外活動許可書(同許可書の交付を受けている者に限ります)【提示】
※上記のほか、審査の過程で追加書類の提出を求められることがあります。

標準処理期間：1か月～3か月 ※余裕を持って申請を行ってください。

(3) 在留期間の更新

在留期間は在留資格とともに決定されますが、現在の資格のまま在留期間を延長したい場合には、在留期間更新の許可を受けなければなりません。

在留期間更新は、在留期間の満了する3ヶ月前から満了までの間に、入国管理局に申請してください。

※ 前年度の取得単位が著しく少ない場合は、延長が許可されない場合があるので、十分留意してください。また、在留期間の更新が1日でも遅れると、不法滞在となりますので、必ず期限までに更新手続きを行ってください。

▼在留期間更新許可申請に必要な書類は以下のとおりです。

【提出書類】

- ① 在留期間更新許可申請書（用紙は入国管理局にあります。また、入国管理局のホームページからダウンロードできます。）
- ② 手数料4,000円
- ③ 在学証明書（在学期間の明記されたもの）・成績証明書（証明書自動発行機で発行）
ただし、4月入学の学部・大学院生で本学での成績証明書が提出できない場合は、入学前に通っていた学校の成績証明・出席証明・卒業証明書を提出）
- ④ 写真（縦4cm×横3cm）1枚
裏面に氏名を記入し、申請書に添付
- ⑤ 在留カード【提示】
- ⑥ 資格外活動許可書（同許可書の交付を受けている者に限る）【提示】
- ⑦ 旅券（パスポート）または在留資格証明書【提示】
- ⑧ ※研究生のみ
大学の学部等の期間が発行した研究内容証明書
- ⑨ ※聴講生のみ
大学の学部等の機関が発行した聴講科目及び時間数を記載した履修届出写し等の証明書

上記のほか、審査の過程で追加書類の提出を求められることがあります。

※創造都市研究科で在留期間更新申請書の4枚目、2の（4）「授業形態」において「昼夜間制」を選択した場合、在籍管理整備書が必要となります。その場合は、創造都市の教務担当に上記書類の発行依頼をしてください。

標準処理期間：2週間～3か月 ※余裕を持って申請を行ってください。

※ 必要書類は、在留資格や個別の状況により異なりますので、事前に外国人在留総合インフォメーション・センターで確認してください。
なお、国費留学生証明書、奨学金受給証明書、授業料減免証明書は、国際センターで発行します。

(4) 一時出国及び再入国

許可されている在留期間内に長期休業(夏休み等)などを利用しての帰国、海外旅行など、一時的に日本を出国し、再び日本に入国する場合は、出発前に必ず在留期間を確認してください。再入国前に在留期間が切れてしまうと、改めて入国目的に応じた在留資格の取得が必要になりますので、注意してください。

また、新しい制度の導入により、一年以内に再入国する場合、有効な旅券（パスポート）及び在留カードを持参すれば、原則として再入国許可を受ける必要がなくなりました。（この制度を「みなし再入国許可」といいます。）

▼「みなし再入国許可」で出国するときは次の点に注意してください。

- ① 出国する際には、みなし再入国許可で出国することを再入国出国記録（E Dカード）の所定の欄に記載し、出国審査で旅券と同出国記録とともに必ず在留カードを提示してください。

- ②みなし再入国許可で出国した方は、出国後1年が経過する日または在留期間の満了する日のいずれかの早い日までに再入国しないと、在留資格が失われることになります。
- ③みなし再入国許可で出国した方は、その有効期限を海外で延長することはできません。したがって、1年を超えて出国する可能性がある場合は、あらかじめ、住居地を管轄する地方入国管理官署において再入国許可を受けるようにしてください。
- ※「みなし再入国許可」に手数料はかかりません。

なお、特別な事情により一年以上出国する場合は、これまで通り、「再入国許可書」を申請する必要があります。

一時出国する時は、必ず前もって所属する学部・研究科（教務担当）に連絡し、国際センターに「一時出国届」（別紙様式2）を提出してください。

特に、国費留学生は、奨学金受給のためのサインなど大切な手続きがあるので、一時出国するときは、必ず国際センターに届けてください。

(5) 在留資格外活動とアルバイト

在留資格が「留学」の場合は、働いて収入を得ることは認められていません。しかし、学費や生活費を補う必要があってアルバイトをする場合には、入国管理局の資格外活動許可を得て働くことができます。ただし、**許可を受けずにアルバイトをすると罰則や強制退去の対象となってしまうので、注意してください。**

許可される労働時間の基準は、正規生及び研究生では1週間に28時間以内、聴講生では1週間に14時間以内とされています。ただし、長期休暇期間中は、1日につき8時間以内の労働が認められています。

資格外活動（アルバイト）を行うにあたっては、次の事項を遵守してください。

- 許可された範囲内でアルバイトを行うこと。
- 風俗営業又は風俗関連営業が行われる場所でのアルバイトは行わないこと。

- (注) 長期休業期間中とは、大学の学則で定めている夏季、冬季、春季休業の期間を指します。ただし、夏季、春季に設けられている研修期間は、長期休業には含まれません。（本しおりの3ページ参照）

1週間28時間以内（聴講生は14時間以内）の範囲で曜日ごとの時間配分は留学生自身が自由に行うことができます。

なお、**卒業後にアルバイトを行うことは許可されていません。卒業後は直ぐにアルバイトを終了してください。**

※ アルバイト先の報告について

アルバイトの決定・終了・変更が生じた場合は、必ず「資格外活動（報告・変更）書」（別紙様式3）にて国際センターに報告してください。

▼資格外活動許可申請時に必要な書類は以下のとおりです。

提出書類

- ① 資格外活動許可申請書（用紙は入国管理局にあります。また、入国管理局のホームページからダウンロードできます。）
- ② 当該申請に係る活動の内容を明らかにする書類 1通
- ③ 旅券（パスポート）または在留資格証明書【提示】
- ④ 在留カード【提示】

(6) 家族の呼び寄せ

留学期間中に家族を日本に呼び寄せる場合は、「在留資格認定証明書」の発給を入国管理局へ申請してください。国や地域あるいは個人の事情によって異なりますが、およそ1ヵ月後に交付されますので、この証明書を本国にいる家族に送付してください。家族が日本の在外公館で査証申請を行う際に、この証明書を併せて提出すると、査証取得の時間が大幅に短縮されます。（証明書が無い場合は2、3ヶ月かかってしまうこともあります。）申請時に必要な書類は次のとおりです。

- ① 在留資格認定証明書交付申請書（用紙は入国管理局にあります。また、入国管理局のホームページからダウンロードできます。）
 - ② 扶養者の旅券（パスポート）または在留カードの写し
 - ③ 扶養者の扶養能力を証明する書類（国費外国人留学生証明書及び各種奨学金受給証明書は国際センターで発行します。）
 - ④ 在学証明書（証明書自動発行機で発行してください。）
 - ⑤ 親族関係を証明するもの
 - ⑥ 申請人の写真（縦4cm×横3cm）1枚
- 申請前6か月以内に正面から撮影されたもの
- 写真の裏面に、申請人の氏名を記入し、申請書に貼る。
 - ⑦ 送料分切手（簡易書留用）を貼った返信用封筒（氏名・住所を記入）
- ※申請者とは日本への入国・在留を希望している方、扶養者とは、申請者を日本において扶養する方のことです。
※上記のほか、審査の過程で追加書類の提出を求められることがあります

標準処理期間：1か月～3か月

(7) 卒業後も継続して就職活動を行う場合の手続きについて

在学中から行っている就職活動を、卒業後も引き続き継続する場合には、在留資格「特定活動」へ資格変更をすることができます。在留期間は6カ月で1回のみ更新が認められ最長1年の滞在が認められます。申請のためには、大阪市立大学からの推薦状が必要ですので、国際センターに申し込んでください。

※この制度は、**正規生のみ**に適用されます。研究生、科目等履修生等の非正規生には適用されません。

(8) 旅券（パスポート）

① 旅券（パスポート）の紛失

旅券（パスポート）を紛失した時は、まず最寄りの警察で「紛失届証明書」を発行してもらってください。その後、母国の在日大使館・領事館で再発行手続きをします。その際、紛失届けに記載されている受理番号が必要になりますので、確認しておいてください。

② 証印転記

旅券(パスポート)の有効期限が切れたり紛失したりして、新しい旅券(パスポート)の発行を受けた場合は、入国許可印と在留資格の転記が必要になります。手続きは、最寄りの入国管理局で行います。

※ 入国管理局ホームページ <http://www.immi-moj.go.jp>

大阪入国管理局(所在地案内は61ページ)

受付時間: 9:00~12:00、13:00~16:00

(土・日曜日、休日を除く)

所在地: 大阪市住之江区南港北1丁目29番53号

交通: 地下鉄中央線「コスモスクエア駅」下車すぐ

電話: 06-4703-2100

取扱事務: ア 在留期間の更新許可申請
イ 在留資格の変更許可申請
ウ 在留資格の取得申請
エ 在留資格外の活動許可申請
オ 永住許可申請
カ 再入国許可申請
キ 在留資格認定証明書交付申請
ク 違反審査
ケ 退去命令業務

◎ 外国人在留総合インフォメーション・センター

電話: 0570-013904

IP、PHS、海外からの場合: 03-5796-7112

受付時間: 月~金曜日 8:30~17:15

対応言語: 英語・韓国語・中国語・スペイン語

相談の内容: 在留手続きに関する各種相談や案内

※ 新制度についての電子パンフレット

http://www.immi-moj.go.jp/newimmiact_1/e-brochure/ja/index.html#page=1

2 在留管理制度

(1) 登録事項に変更が生じた場合

【市役所でする手続き】

◇特別永住者証明書の交付・変更申請

◇転出・転入・転居など住所の変更申請

※市外へ転出するときは、転出元の市役所で転出届をして(転出予定日の14日前から受付)「転出証明書」の交付を受けた後、転出先の市役所に、引越しが終わってから14日以内に「転出証明書」と転出する外国人全員の「在留カード」または「特別永住者証明書」を持参して、転入届が必要です。14日以内に届け出なかった場合、罰則を課せられることがあります。

【入国管理局でする手続き】

◇在留カードの交付・更新・変更申請

在留カード記載内容の変更について：氏名、生年月日、性別又は国籍・地域など登録事項に変更が生じた場合は、変更した日から14日以内に旅券・写真・在留カード及び変更した事実が分かる資料を持参して届け出てください。

在留期間の更新、在留資格変更については1（2）および（3）を参照。

【国際センターでする手続き】

◇住所・電話番号・在留資格・在留期間の変更の届け出

「留学生各種変更届」（別紙様式1）で**国際センターに必ず届けてください**。届け出がない場合、奨学金や授業料の減免に影響が出る恐れがあります。また、住所・電話番号については学部・研究科事務室でも変更手続きを行ってください。

(2) 紛失等による在留カードの再交付申請

在留カードを紛失した場合、入国管理局で再交付申請をしてください。

(3) 在留カードの返納について

母国に完全に帰国する場合、在留カードの有効期間が満了した等の場合、失効した日から14日以内に在留カードを返納しなければなりません。返納方法については、居住地を管轄する地方入国管理官署に直接持参していただくか、下記の返納先に送付して返納してください。期限内に返納しないと罰金に処せられることがあります。。

郵送による返納先：〒135-0064 東京都江東区青海2-7-11

東京港湾合同庁舎9階 東京入国管理局おだいば分室あて

※封筒の表に「在留カード返納」と表記してください。

**充実した留學生活のために
在留資格の更新・資格外活動許可の申請は忘れずに!!**

在留資格の更新を忘れたり、資格外活動の許可を得ずにアルバイトをしたりすると、本人が法律等に基づいて処分されるだけでなく、

大阪市立大学で学ぶ留学生全員に悪影響が出るおそれがあります。

3 市役所・区役所関連手続き

(1) 国民年金への加入

日本国内に住んでいる20歳から60歳までの人は、国民年金に加入することになります。日本国籍を有しない方が(年金保険の保険料を6カ月以上支払い)、国民年金、または厚生年金保険に被保険者資格を喪失し、日本を出国した場合、日本の住所を有なくなった日から2年以内に脱退一時金を請求することができます。詳細は居住地の市区町村の国民年金担当窓口へお問い合わせください。

(2) 社会保障・税番号(マイナンバー)

平成27年10月から、住民票を有する市民の皆さん(3か月以上日本に滞在する外国人を

含め)一人ひとりに12桁のマイナンバー(個人番号)が付与されます。この12桁の番号ですが、在留カードに記載のものとは異なります。番号通知カードに同封の申請書で申請すれば、個人番号カードが交付されます。平成28年1月より、年金・雇用保険・医療保険の手続き、生活保護・児童手当その他福祉の1給付、確定申告などの税の手続きなど、法律や条例で定められた行政手続きにおいて利用されています。そのため、役所で手続きをするときやアルバイトをするときに提出を求められることがあります。

4 帰国に際して

留学目的を達成して帰国するにあたっては、済ませておくべき手続き等が沢山あります。参考として、以下に必要なと思われる事項を挙げておきますので、手続き漏れが無いようにしてください。また、留学生の皆さんは、国境を越えた交流の架け橋としての期待を担っています。帰国する前にお世話になった方々に心を込めてお礼を述べるなど、将来も暖かい交流が継続できるように心を配っていただきたいと思います。

(1) 学内での手続き

必要な手続きとして、以下のような事項が考えられます。帰国することが決まったらすぐに、国際センターに出向き、相談・確認をしましょう。

＜必要事項の例示＞

帰国旅費請求あるいは辞退手続き(国費留学生は3ヶ月以前、JASSO奨学金による短期留学生は2ヶ月以前)、奨学金満了手続きあるいは辞退手続き、宿舍退去届の提出、留学生住宅総合補償の解約手続き、学籍上の手続き(成績証明書や学位取得証明書の発行など)、帰国後の連絡先の届出(住所、電話 番号、Eメールアドレスなど)、就職する場合の勤務先の届出、公共料金の精算等を委任する人物の報告(氏名、連絡方法などを事務担当者に知らせる)、所属学会への連絡、などがあります。

(2) 学外での生活上の手続き

地域で暮らした住民として済ませておくべきさまざまな手続きがあります。後でトラブルにならないよう、きちんとした対応をお願いします。

＜必要事項の例示＞

① 住宅関係

家主への退去予告(1ヶ月以前)、保証人への報告とお礼、退去に伴う居室の現状復帰

② 銀行関係

口座の解約(解約時期については、奨学金等の振込みや光熱水料の引き落としなどの帰国後に処理されるものがあるので、事務担当者に相談する)、クレジットカード・キャッシュカードの解約、自動引き落としの解約

③ 各種利用契約の解約

光熱水料(電気、ガス、水道)、電話料、NHK放送受信料

④ 市区役所

国民健康保険の脱退手続きと保険証の返納、在留カードの返納(出国時に空港の入管で返納)、子ども等の学校関係手続き

⑤ 荷物の発送手続き

船便と航空便の使い分け

⑥ ゴミの始末

大型ゴミなどの処分

⑦ 郵便物の転送

日本にいる知人への転送依頼(1年間可能)

⑧ その他

ホストファミリーや奨学金スポンサー財団等への連絡とお礼

Ⅲ 日本での生活

この章では、留学生の皆さんが、日本で快適に生活するために必要な情報を紹介しています。

1 住居

留学生向けの宿舎には、本学の所有する宿舎と、留学生支援財団等が管理・運営する宿舎があります。本学では提供できる戸数に比べて申込者の数が多いため、確実に希望がかなうという保障はできません。また、入居許可期間が1～2年となっている宿舎が多いので、期限が満了したら民間の住居を探すことになります。

現在、留学生が入居している宿舎は次のとおりです。

(1) 留学生用宿舎

宿舎名 (運営先)	募集時期	居室数	入居資格	入居期間	家賃(月額)	所在地
大阪市立大学 国際交流宿舎	単身用：1月中旬 (入居者決定は 3月上旬) 家族用：随時	単身用：29室 家族用：2室 (但し研究者優先)	留学生 (但し、科目等履修生は除く。) 私費留学生、 正規学生、新入生 を優先する。	単身者用：1年以内 (4月～翌年3月28日) 家族用：3ヶ月以上1年以内	単身：6,000円 家族向：15,000円	堺市北区東上野芝町2-438
大阪府堺留学生会館オリオン寮 (大阪府国際交流財団)	1月中旬 (空室は随時)	85室 (全室単身者用)	単身の私費留学生 (在留資格「留学」) 過去に入居した者は入居資格が無い。	2年以内 (延長可)	26,000円	堺市北区東上野芝町2-226
エル・セーノ紅梅町 (大阪国際交流センター)	12月上旬 (空室が出た場合追加募集あり)	単身用9室 家族用1室 (H28年度割当数)	私費留学生 (在留資格「留学」)	入居時に在籍する課程の最短履修期間内	18,100円～47,200円 (入居者の収入の額により異なる)	大阪市北区紅梅町6-6
上野芝女子学生寮 (小野奨学会)	2月～3月 (三次募集まで有)	93室 (全室単身者用)	単身の女子留学生	入居時に在籍する課程の最短履修期間内	5,500円 (水道料含む)	堺市西区上野芝向ヶ丘町6-2-3

※ 家賃については2017年3月現在であり、今後改訂されることがあります。

★ 問い合わせ先：国際センター 06-6605-3558

(2) 民間住宅

部屋を決めるときは実際に物件を見て、入居条件についてよく話し合ってください。契

約内容をしっかりと把握しておかないと、入居後にトラブルが起きることになります。

入居後は契約内容・条件(約束事)はきちんと守り、特に家賃の滞納はしないように注意してください。

そのほか電気・ガス・水道などの公共料金は各自で支払わなければなりません。また、帰国や引越しなどで賃貸契約を解約する際には、通常1ヶ月前までに家主に予告しなければなりません。予告なしに退去したり、直前まで予告しないと敷金が戻らないこともあるので注意してください。

(3) 留学生向け住宅機関保証について

一定条件のもと、留学生の賃貸借契約の連帯保証人の引き受ける制度があります。連帯保証人とは、借主と連帯して、貸主への債務を負う保証人のことで、日本でアパートなどを借りる際には連帯保証人が必要になります。自分で連帯保証人を見つけることが困難な場合は、国際センターで、住宅機関保証の申請をしてください。

<機関保証制度を利用するために必要な条件>

対象：大阪市立大学に在籍する留学生（研究生を含む）

対象物件：民間宿舎など

- 条件：①留学生本人が新たに居住するために結ぶ賃貸借契約であること
②賃貸借契約にあたり、連帯保証人を求められていること
③日本国内に連帯保証人となり得る親族等がないこと
④家賃の支払いが十分可能であると認められる収入があること
⑤家賃の支払いを毎月、大学に報告すること
⑥(財)日本国際教育支援協会の「留学生住宅総合補償」に加入すること
⑦大学の連帯保証の範囲は、「留学生住宅総合補償」による範囲内であることに
ついて、貸主の了解が得られていること

保証期間：大学在籍期間内

※また、連帯保証人ではなく、大学を緊急連絡先として指定したい場合も対応します。詳しくは、国際センターまでお問い合わせください。

★ お問い合わせ先：国際センター 06-6605-3558

(4) その他

留学生支援企業協力推進協会を通じての「社員寮への留学生受入れプログラム」、共立国際交流奨学財団の奨学寮制度があります。宿舎の募集時期になりますと、必要事項を全学ポータルサイトと国際センター掲示板に掲示してお知らせします。

★ 問い合わせ先：国際センター 06-6605-3558

2 「引越し」に際して

引越し会社はたくさんありますので、電話帳で調べてみてください。まず、荷物の量などを見て料金を計算してもらってから（「見積もり」と言います。）、引越しの手配をしましょう。見積もりは無料なので、数社に見積もってもらって、サービスの内容や費用を比べてから決めるとういでしょう。費用は距離や荷物の量によっても変わってきますし、パッキングをせらうと追加料金が必要となります。もし引越し荷物が少ないのであれば、宅配便のほうが安い

場合もあるかもしれません。

引越しをする場合、賃貸契約の解約手続き(引越しの1ヶ月前には予告しなければなりません。)を行うほか、大学の所属学部・研究科(教務担当)と国際センターで住所変更の手続きをしてください。

また、次の手続きが必要ですので、忘れずに行ってください。

手続き事項	説明
在留カード	転出元の区役所で転出届をして転出証明書の交付を受け、転出先の区役所にその証明書と在留カードを持参し転入届をする。
国民健康保険	同じ市町村の場合は住所変更の届出のみ。異なる市町村の場合は、転出届、転入届の際にそれぞれの区役所で手続きをする。
公共料金	転居1週間前までに、電気、ガス会社と水道局に転居する日を電話しておき、精算の手続きをする。
銀行等	口座を開設した銀行等に、住所変更届を提出する。
郵便局	転居前の最寄りの郵便局に、転居先の住所を知らせておくと、転居前の住宅に送られてきた郵便物を転居後、原則1年間に限り転居先に転送してくれる。

3 生活情報

(1) 電気

日本の電圧は100Vで、周波数は富士川(静岡県)を境に東側が50ヘルツ、西側が60ヘルツとなっています。大阪の電気は「関西電力」が供給しています。

電気使用の申し込みは、最寄りの関西電力の営業所に連絡してください。もし、使っていた電気が突然消えたら、多くの場合は使いすぎによるものなので、使用中の電化製品のスイッチをいったん消してから、ブレーカーのスイッチを入れ直してみてください。もし、落雷などで停電した場合は、復旧されるまでに時間がかかります。

連絡先

関西電力 東住吉営業所(大阪市の南)	TEL 0800-777-8022
関西電力 南大阪営業所(堺市)	TEL 0800-777-8024
関西電力ホームページ	www.kepco.co.jp

(2) ガス

ガスには主に都市ガスとプロパンガスがあります。都市ガスは「大阪ガス」が供給しています。入居したら、まず大阪ガスお客様センターに連絡し、日時を決めてガスの開栓を依頼します。指定日に係員が訪問し、ガス器具の点検や、説明を行ったうえで開栓します。開栓時には、本人の立会いが必要です。

ガス漏れなど緊急の時には大阪ガスお客様センターへ連絡してください。

連絡先

大阪ガスお客様センター(大阪市)	TEL 0120-0-94817
(堺市)	TEL 0120-3-94817
ガスもれ通報専用電話:(大阪市)	TEL 0120-0-19424
(堺市)	TEL 0120-3-19424
大阪ガスホームページ	www.osakagas.co.jp/

(3) 水道

日本の水道水は飲料水として安心して飲むことができます。水道は各市町村が供給しています。入居したら居住している市役所の水道局へ連絡してください。

連絡先

大阪市水道局住吉お客様センター TEL 06-6458-1132

堺市上下水道局北部お客様センター TEL 072-251-1132

※ 公共料金の支払いは銀行や郵便局の自動引支払いが便利ですが、銀行、郵便局、コンビニエンス・ストアからでも、その都度支払うことができます。

(4) ゴミの処理

ゴミを捨てたいときは、決められた日時に、決められた場所に出しておく、ゴミ収集車が回収してくれる仕組みになっています。回収日時・場所などは、各地域(市区町村)によって異なります。

一般的には、可燃ゴミ、不燃ゴミ、資源ゴミ(ビン、缶、ペットボトルなど)、粗大ゴミ

ミなどに分けられていますので、地域のゴミ収集の取り決めに理解して、それに従ってください。アパートやマンションなどの共同住宅では、ゴミ出しの場所や時間帯など独自の約束事がある場合もありますので、注意してください。また、通常、大型家電製品は回収してもらう際にはリサイクル料金がかかります。詳細については、各市役所に問い合わせてください。

★ 問い合わせ先

大阪市環境事業局西南環境事業センター TEL 06-6685-1271
堺市環境局北部環境事業推進センター TEL 072-228-7429

(5) 交通

杉本キャンパスの周辺は、JR（阪和線）・地下鉄（御堂筋線）が通っています。JRは阪和線の杉本町駅で下車し、本学には徒歩5分で着きます。JRの大阪の主要ターミナル駅は大阪、天王寺などがあります。地下鉄は御堂筋線のあびこ駅で下車し、本学には南西に徒歩約20分で着きます。地下鉄御堂筋線は大阪の中心部を縦断する幹線で、新大阪、梅田、難波に繋がっています。主要ターミナル駅は梅田、難波、天王寺などがあります。阿倍野キャンパスは主要ターミナル駅の天王寺から徒歩10分弱で着きますが、近くにはJRや地下鉄、更に近鉄が通っています。

※ 学割制度

鉄道、地下鉄、バスなどの交通機関では、通学定期と通勤定期の2種類の定期券を発行しています。学部学生及び大学院学生は通学定期券が購入できます。研究生や科目等履修生などの学生は通勤定期券になります。

(6) 電話

① 携帯電話

携帯電話は、各社によってサービスの内容が異なるため、各自で問い合わせてください。街中には各社のサービスショップが沢山あります。

② 公衆電話

国内電話の場合は、10円硬貨、100円硬貨、またはテレフォンカードを使ってかけられます。国際電話をかけるときには、専用のプリペイドカードを使えばかけられます。このカードはコンビニエンス・ストアで買うことができます。

③ 国際電話

〔国際ダイヤル通話〕

ダイヤルするだけで海外に電話が繋がります。国際電話会社には、KDDI(001)、ソフトバンクテレコム(0061)、NTTコミュニケーションズ(0033)があります。アクセス番号(001か0061か0033)+010+国番号+地域番号+相手の電話番号で繋がります。

各社の問い合わせ先はKDDI(0057)、ソフトバンクテレコム(0120-03-0061)、NTTコミュニケーションズ(0120-506506)です。

〔国際オペレーター通話〕

KDDI(0051)へ電話してオペレーターを呼び出します。相手の名前と番号を告げます。

(7) **銀行**

日本では、銀行等の金融機関が、預金・融資・為替等の業務を行うほか、電気、ガス等の公共料金の自動支払い、クレジットカードの代金支払いなどのサービスも行っています。これらのサービスを利用するには、まず普通預金の口座を開かなければなりません。おもな銀行等の営業時間は、

- 窓口 月～金曜日 9:00～15:00
- ATMコーナー 月～金曜日 8:45～19:00
- 土・日曜日 9:00～17:00

ただし、ATMの24時間サービスなど一部の銀行で異なります。

① 銀行等に口座を開設する時

銀行によって、条件や開設できる口座の種類、手続き方法が異なります。基本的に日本に住所がある場合は、銀行等の所定の用紙に記入すれば口座開設ができますが、入国後6ヶ月以上経過しなければサービスを限定される場合もありますので、詳しくは各銀行へ問い合わせを確認して下さい。

② 公共料金の自動支払い

公共料金（電気・ガス・水道・電話料金・NHK受信料）などは、銀行や郵便局に開設した口座から自動支払いにすることができます。自動支払いにすると、1回の手続きで、あとは自動的に支払われますので、支払い忘れの心配がありません。

手続きは、口座のある金融機関に預金通帳、印鑑(口座の開設時に使用したもの)及び本人確認書類を持参し、所定の用紙に公共料金の「お客様番号」や「会員番号(領収書に記載)」を記入して口座を開設している銀行等の窓口で申し込みます。

③ ATMの利用と操作

銀行等では普通預金口座を開いた人にキャッシュカードを発行しています。キャッシュカードを利用するとATMで預金の払い戻し、入金、振込みができます。キャッシュカードで払い戻しする時には、登録した暗証番号を入力する必要がありますので、必ず番号を覚えておきましょう。暗証番号は4桁になっていますので、万一カードを紛失した場合、簡単な暗証番号だと悪用されてしまう恐れもあるので、他人にわかりにくい番号にする必要があります。

ATMは、ディスプレイに表示されるガイダンスに従ってキーを操作します。ただし、ガイダンスは日本語で表示されます。最近では英語表示切替ボタンのついているものも増えています。使用方法がわからないときは係員に尋ねてください。

④ 振込みについて

銀行等を通じて、受取人の取引銀行の預金口座に、簡単な手続きで安全に送金できます。

この場合、本人確認書類を持参し、受取人の取引銀行名、支店名、口座の種類、口座の番号、住所、氏名、電話番号を記入して申し込みますが、手数料が必要です。外国からの送金の受け取り、あるいは外国への送金もできます。

⑤ 外貨両替

外貨の両替は、「財務省認可両替商」の表示がある銀行、一部の郵便局で取り扱われています。トラベラーズチェックの換金も同じです。

(8) 郵便

郵便局は郵便業務ばかりでなく、さまざまな金融業務と保険業務も扱っています。日常生活で郵便局を利用するのは、とても便利です。

● お客様サービス相談センター

(日本語)	Tel:0120-23-28-86
	Tel:0570-046-666 (携帯からは有料)
(英語)	Tel:0570-046-111 (有料)
月～金曜日	8:00～22:00
土・日曜日及び休日	9:00～22:00

① 郵便局の金融業務(ゆうちょ銀行)

口座の開設は、他の銀行の場合とほぼ同様です。公共料金の自動支払いも口座があれば同じようにできます。ATMも設置されています。またゆうちょ銀行と提携している金融機関のATMでも利用できます。

② 国内郵便

- 葉書：52円切手を貼って「赤い郵便ポスト」へ投函または郵便局へ差し出します。また「官製葉書」を郵便局で買えば切手を貼らなくても郵送することができます。
- 封書：定形(長さ14～23.5cm、幅9～12cm、厚さ1cm以内までのもの)で82円(25gまで)と92円(50gまで)です。その他は定形外です。定形外や速達、書留などは別料金が必要になります。詳細は郵便局の窓口でお尋ねください。
- 速達：急ぐときに料金を追加して「速達」にすると早く届けてもらえます。郵便局の窓口申し出るのが確実ですが、自分で郵便ポストに入れるときは赤で《速達》印をいれ、速達料金分の切手を貼り足して、郵便ポストに入れます。
- 書留：重要な文書・物の郵送時に、万一の場合損害賠償が受けられます。窓口で申し出てください。
- 小包：郵便小包「ゆうパック」は、郵便局の他、看板のある店で取り扱っています。荷物のおおきさが、長さ、幅、厚さの合計が1.7m以内で、重さは30kg以内のものに限ります。料金は、重量や距離によって違います。また、送ることができないものもありますので、取扱店などで確かめてください。

受け取りの印または署名が必要な郵便物や小包が、あなたが不在のときに配達された場合、配達員は不在配達のお知らせをあなたの住居のポストの中に残していきます。郵便局では、その郵便物を7日間保管するので、出向いて受け取るか(印鑑と本人確認書類を必ず持参すること)、あるいは希望配達日を郵便局に知らせて再配達を申し込んでください。

② 国際郵便

葉書は世界各国宛で70円、封書は重量と距離により異なりますが、定形で90円から130円(25gまで)です。共通定形外は2kgまで上限は4,990円。小包は最高30kgまでです。

(9) 宅配便

このサービスは、小さな小包や荷物を日本国内で送るのに便利です。時として郵便局で送るよりも安く、通常はたいてい1日で先方に届きます。会社によっては冷凍や冷蔵のもの配達も可能です。コンビニや土産物屋の多くはこのサービスを使っています。

① 国内で荷物を送る場合

いくつかの民間の宅配会社を取り扱う宅配便があります。民間の宅配会社を取り扱っている宅配便も「ゆうパック」のように、荷物のおおきさや重量、距離によって値段が

違います。コンビニなど多くの店舗で取り扱っています。

② 海外へ荷物を送る場合

郵便局といくつかの民間の国際配達サービス会社（下記）があり、荷物が目的地に着くまで全責任を持ってくれます。ただし、各国で輸入が禁止または制限されているものもありますので、注意してください。それぞれの価格や取り扱い可能な地域などサービスに差があります。比較検討して選んでください。

企業名	連絡先・営業時間	
DHL日本	TEL:0120-39-2580 (通話無料、英語可) 月～木曜日 8:00～19:00 金・祝前日 8:00～20:00 土・祝日 8:30～14:00	http://www.dhl.co.jp
フェデラル エクスプレス (FedEx)	TEL:0120-003200 (フリーダイヤルが使用できないとき TEL:043-298-1919) 月～金曜日 8:00～20:00 土曜日 8:30～17:30 祝日 9:00～18:00	http://www.fedex.com/jp
OCS	TEL:0120-627-012 月～木曜日 8:30～19:00 金・祝前日 8:30～20:00 土曜日 9:00～16:00	http://www.ocs.co.jp
UPS ジャパン	TEL:0120-27-1040(通話無料) 月～金曜日 9:00～18:30	http://www.ups.com/jp

(10) 買い物

① コンビニエンス・ストア（コンビニ）

早朝から深夜まで、多くが24時間営業で、年中無休の店です。生活に必要なものは大体そろいますが、定価販売が多く値段は少々割高になります。コピーサービス、宅配便受付、公共料金払い込みなど、さまざまなサービスを取り扱っています。

② スーパーマーケット（スーパー）

食料品や衣料品、日用品や電化製品などが安く買えます。大規模なチェーン店がいくつもあり、新聞に折り込み広告が定期的に入りますので、注意してみてください。大型電気店もいくつかあり、かなり安くなっています。

③ デパート

百貨店ともいいます。スーパーに比べて高級品を扱っており、価格も高くなっています。梅田や難波、天王寺などターミナル駅周辺に多くあります。

(11) 新聞

朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞、日本経済新聞が全国紙です。その他にも、地方紙やスポーツ新聞など、駅の売店やコンビニでも販売されています。

The Daily Yomiuri (読売)、The International Herald Tribune/The Asahi Shimbun(朝日)、The Japan Times などの英字新聞もあります。各紙ともインターネットで読むことができます。購読申し込みもすべてインターネットでできます。

★ ホームページアドレス

朝日新聞 <http://www.asahi.com/>

毎日新聞 <http://mainichi.jp/>

読売新聞	http://www.yomiuri.co.jp/
産経新聞	http://www.sankei.jp.msn.com/
日本経済新聞	http://www.nikkei.com/

(12) テレビ・ラジオ

日本ではテレビのある世帯は、NHK受信料を支払わなければなりません(まとめて支払うと安くなるサービスもあります。)。衛星放送は、NHKや民間のものがありますが、それぞれ各社と契約して料金を支払う必要があります。音声多重放送の機能がついたテレビかビデオデッキがあれば、地上放送でも「ニヶ国語」の表示がある番組について英語で見ることができます。また、2011年7月より、デジタル放送に移行しました。日本の一般のチャンネルを見るためには、デジタル対応テレビなどが必要です。

ラジオは、FM CO. CO. LO (76.5MHz) が多言語放送をしています。放送時間、番組内容などはホームページ (FM CO. CO. LO <http://cocolo.co.jp/>) で確認できます。

(13) 運転免許と自動車・自転車

① 運転免許と自動車

国際運転免許証の免許区分が「B」の場合、日本国内で自動車の運転ができます。ただし、オートバイ(原付を含む)を運転する場合には免許区分「A」が必要です。日本の運転免許証に切り替える場合は、外国(母国)で取得した運転免許証が必要です。

自動車運転免許(国際運転免許証、日本の運転免許証への切り替え等)に関する問い合わせは、以下の試験場にお尋ねください。

★ 問い合わせ先	門真運転免許試験場	06-6908-9121
	光明池運転免許試験場	0725-56-1881

中古の自動車は、比較的安価に手に入れることはできますが、駐車場を確保してからでないと、登録できません。ほとんどの共同住宅の駐車場は確保が困難で、近辺の駐車場を借りるにしても費用が高かかります。その上自動車保険に加入せずに運転すると、万一の場合、取り返しのつかない事態にもなりかねません。

なお、本学では、学生の自動車、オートバイでの構内乗り入れを原則として禁止しています。特別な事情が無い限りは公共交通機関、自転車を利用してください。

② 自転車

自転車は、購入時に必ず盗難登録をしましょう。お店でももらえない場合は、各自で警察へ行って登録してください。また、駐輪する時には必ず鍵をかけましょう。もし、盗難にあった時は、すぐに警察に届けてください。

なお、杉本キャンパスで大学構内に自転車を駐輪するためには、1年間有効の登録証(シール)を自転車に貼る必要があります。証明書自動発行機で「自転車登録用在学証明書(¥1,000)を購入し、サポートセンター学生支援課窓口で手続きを行ってください。
(<https://www.portal.osaka-cu.ac.jp/ja/news/0ffo4v/xbjlc5>)

注: 2016年7月1日から、大阪府では自転車を乗用人について、自転車保険への加入を義務付けています。手続きをすれば、個人賠償を含んだ賠償責任保険もしくは特約で自転車保険への加入することができます。賠償責任保険はすでに火災保険等の補償も含んでいますが、自転車に関する補償がついているかどうかはご自身で確認が必要です。

4 緊急時の対応

緊急時には、電話で

警察署（盗難、犯罪）の **110番**

消防署（火事、救急車）の **119番**

に連絡しましょう。全国共通・無料で、携帯電話からも、また、公衆電話からも硬貨やテレフォンカード無しでかけることができます。緊急の時には、あわてずに落ち着いて行動することが大切です。通報する際は、正確に、住所や氏名を伝えましょう。

(1) 急病の時

急病、交通事故などのけが、やけど、中毒などで、急いで手当てが必要な時に電話で119番に連絡してください。発生場所、氏名、電話番号などを落ち着いて伝えてください。公衆電話からかける場合、硬貨は不要です。受話器を上げて、非常用ボタンを押してコールしてください。

携帯電話、PHSの場合は、必ず場所を確認し、自動車走行中の場合は、安全な場所に停車してから通報してください。また、通報後もしばらくは電源を切らないでください。救急車には15ヶ国語のチェックリスト（症状など）を備えていますので、救急隊員の要請があれば協力してください。

● 休日・夜間には

日曜や祝日、年末年始、夜間に、急に病気になった時は、急病診療所で診察を受けられます。受診の際は、必ず健康保険証などを持参してください。

<急病診療所>

(i) 大阪市中央急病診療所 大阪市西区新町4-10-13 Tel.:06-6534-0321

内科・小児科	月～金曜日 22:00～翌朝 5:30 土曜日(祝日・年末年始を除く) 15:00～翌朝 5:30 日曜日・祝日・年末年始(12/30～1/4) 17:00～翌朝 5:30
眼科・耳鼻咽喉科	月～金曜日 22:00～翌朝 0:30 土曜日(祝日・年末年始を除く) 15:00～21:30 日曜日・祝日・年末年始(12/30～1/4) 10:00～21:30

(ii) 休日急病診療所

内科・小児科（大阪市） 中野休日急病診療所 大阪市東住吉区中野 2丁1番20号 Tel.:06-6705-1612	<内科> 日曜日・祝日・年末年始(12/30～1/4) 10:00～16:30 <小児科> 月～金曜日(祝日・年末年始を除く) 20:30～23:00 日曜日・祝日・年末年始(12/30～1/4) 10:00～16:30
内科・小児科（堺市） 宿院急病診療センター 堺市堺区甲斐町東3丁2-6 Tel.:072-223-6170	日曜日・祝日 9:30～11:30、12:45～16:30

(iii) その他の急病診療所

都島休日急病診療所	大阪市都島区都島南通1-24-23	06-6928-3333
西九条休日急病診療所	〃 此花区西九条5-4-25	06-6464-2111
十三休日急病診療所	〃 淀川区十三東1-11-26	06-6304-7883
今里休日急病診療所	〃 東成区大今里西3-6-6	06-6972-0767
沢之町休日急病診療所	〃 住吉区千鉢2-2-6	06-6672-6021

救急車を利用するほどでもないが、診てもらえる病院がわからない、家族が救急車で運ばれたが、どこの病院が知りたい時などにお答えします。

★ 問い合わせ先：

大阪市救急情報サービス TEL：06-6543-9999
堺市救急医療テレフォンサービス TEL：072-228-0099
大阪府救急医療情報センター TEL：06-6693-1199
(365日24時間対応)

※ 大阪府のホームページに英語（と多国語）が通じる病院のリストがあります。
http://www.pref.osaka.lg.jp/iryo/medicalinfo/20_index_English.htm

(2) 火災

① 火災を起こさないために

- 火事にならないよう、次のことに注意してください。
- ・就寝、外出の前には必ず火の元の安全を確認する習慣をつけましょう。
 - ・タバコの火の不始末は多くの火事の原因となっていますから、特に注意してください。
 - ・家の周りに、燃えやすいものを置かないようにしましょう。
 - ・暖房器具は正しく使いましょう。
 - ・初期消火のために、消火器を備えておくとういでしょう。

② 火災が起きたら

- ・大きな声で「火事だ」と隣近所の人に知らせ、同時に電話で119番通報します。
- ・消防が電話に出ると、発生場所、氏名、電話番号などを落ち着いて伝えてください。
- ・携帯電話、PHSの場合の通報の仕方は救急車の場合と同じです。
- ・煙が出ている場合、タオルやハンカチなどを鼻と口に当てて、姿勢を低くして避難してください。

【大学内で火災が発生したら】

早く知らせる

- ・守衛室や事務室へ火災の状況を連絡してください。
- ・消火不可能な場合は、あわてずに正確に119番通報を行いましょう。
- ・大学においては、非常ベルを押すと、報知器のベルが鳴り、消火栓ポンプが始動し、発火場所が事務室などに伝わります。

早く消す

- ・可能な限り、消火器やバケツで初期消火にあたりましょう。大学内では、消火は基本的に教職員があたるので、その指示に従ってください。
- ・ガスの元栓を閉じ、火元からできるだけ離れた位置で電源を切ってください。周囲の

燃えやすいものをすばやく除去しましょう。

- ・被服に着火した時は、手やあり合わせのもので、もみ消すか水を被ってください。さらには、床に転げてもみ消しましょう。
- ・廊下の防火扉を閉める時には、大声を出して周囲に知らせ、内部に人がいないことを必ず確認してください。

【消火器の使い方】



- ① 安全ピンを引き抜く
- ② ホースを外し、火元に向ける
- ③ レバーを強く握って、放射する

早く逃げる

- ・天井が燃え始めたり、ガスが発生したりした場合は、速やかに避難してください。
- ・火災が発生した時の避難にあたっては、必ず教職員の誘導や指示に従って、まとまって避難しましょう。また、避難後、逃げ遅れた人などがいる場合はすぐに教職員に連絡してください。
- ・エレベーターは使用しないでください。また、屋内の階段は煙の通路になり危険です。なるべく屋外の非常階段を使いましょう。
- ・廊下での避難方向は、煙の流れをみて風上（煙が流れていく方向）へ逃げましょう。タオルやハンカチなどを口にあて、姿勢をできるだけ低くして避難しましょう。
- ・非常階段や、はしごが使えない時は、窓を開けて大声で救助を求めてください。
- ・避難場所で、人数確認を行います。教員が指示するまで、勝手に避難場所を離れないようにしてください。

(3) **交通事故**

自転車や歩行者と車の接触事故などが頻繁に起こっていますので、十分注意してください。通学に自転車を使用する場合は、日本の交通ルールを守り、安全に気をつけましょう。特に傘をさしながらの走行や、携帯電話で通話しながらの運転は非常に危険ですので、やめましょう。

もし、負傷者が出た場合は、まず負傷者を救護しなければなりません。救急車を呼ぶ必要がある時は、直ちに電話で119番に通報します。

その後、警察に電話で110番通報し、あなたの住所、氏名、電話番号、場所や事故の状況を落ち着いて伝えてください。そのほか、相手の氏名、勤務先、電話番号、事故を起こした車のナンバー、保険加入の有無を必ず確認してください。できれば、目撃者の氏名、連絡先も聞いておきましょう。警察が到着したら、警察官の指示に従ってください。

なお、交通事故による医療費については保険が適用されません。通常は加害者側の車に掛けられている任意保険から後日支払われます。もし、後でトラブルが生じた場合は、市・区役所の交通事故相談窓口にご相談ください。

★ 交通事故相談窓口

大阪市： <http://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000004815.html#3>

堺市： <http://www.city.sakai.lg.jp/minami/kurashi/madoguchi.html>

(4) **盗難**

学外で盗難(犯罪)にあった場合は、直ちに110番通報をして、その場所、あなたの住所、氏名、電話番号、状況を落ち着いて伝えるとともに、警察の指示に従ってください。また、普段も自宅の近くにある警察署や交番に連絡できるようにしておくことも大切です。

学内の盗難(紛失)の場合は、直ちに学生支援課(厚生担当)に連絡してください。

クレジットカード、銀行の通帳、キャッシュカードを盗まれた(紛失した)時には、直ちに銀行に連絡して口座をストップしてもらう必要があります。同時に警察にも届けてください。

(5) 地震

日本は地震の多い国ですが、日頃から、突然襲ってくる地震に対処する準備をしておきましょう。それには最寄りの避難場所をチェックして、携帯ラジオ、懐中電灯など備えておく、停電の時に便利です。地震に遭った時には落ち着いて行動することが大切です。

① 地震に備えて

- ・タンスや本棚などの家具をL字型金具等（デパート、家具店、金物店で入手）で固定するなどして、転倒防止をしておきましょう。
- ・懐中電灯、ローソク、非常用飲料水、非常用食糧、救急用薬品、携帯用ラジオ、衣類及び現金、預金通帳、証書、健康保険証などの貴重品をひとまとめにして、直ぐに持ち出せるようにしておきましょう。
- ・市民が避難するために、大きな公園、広場などが避難場所などに定められています。日頃から、どこに避難すればよいかを確認しておきましょう。
- ・一時避難所……一時的に避難できる学校や公園などを指定
- ・収容避難所……建物内に避難できる学校などを指定
- ・広域避難場所……大規模な避難に適する場所として公園などを指定
- ・避難路……広域避難場所までの安全な道路を避難路として指定

② 自宅にいる時などに地震がおきた時

- ・丈夫なテーブルなどの下に入りましょう。
- ・タンス、戸棚など、倒れやすい物には身を寄せないで、窓ガラスから離れてください。
- ・あわてて外に飛び出さないでください。絶対に窓や屋根から飛び降りてはいけません。
- ・落ち着いて火の始末をしましょう。ガス機器は元栓を閉め、アイロンなどの熱機器はコンセントからプラグを抜きましょう。
- ・大きなゆれがおさまっても、しばらく余震が続くことがあるので、注意しましょう。
- ・戸を開けて出口を確保しましょう。
- ・パニックになることが一番危険です。頭を保護しながら落ち着いて避難してください。
- ・近所の人のアドバイスを聞いて行動してください。

③ 乗り物に乗っている時

- ・急停車に備え、つり革・手すりなどにすぐつかまりましょう。
- ・停車しても、勝手に非常コックを使って車外へ出たり、窓から飛び出したりせず、乗務員の指示を待ちましょう。特に地下鉄などは、線路横に高圧電流が流れており、非常に危険です。

④ 地下にいる時

- ・あわてて出入り口に殺到せず、壁や太い柱に身を寄せ、係員の指示に従ってください。
- ・停電になっても、非常用照明灯がつくので、落ち着いて行動しましょう。
- ・地下での火災は、煙や有毒ガスが充満しやすく危険です。ハンカチなどで、鼻と口を覆い、体がかがめて壁に沿って煙の流れる方向へ避難しましょう。

⑤ 路上にいる時

- ・その場に立ち止まらず、衣服や持ち物などで頭を覆いながら近くの空き地や公園、または頑丈そうなビルの中へ避難し、落下物からの危険を回避しましょう。
- ・ブロック塀や、自動販売機など設置物のそばや、ビルの壁際などへは近づかないようにしてください。

- ・垂れ下った電線は非常に危険です。絶対に近づかないでください。
- ・崖や川べりは、地盤が緩み崩れやすくなっている場合があるので、近づかないようにしましょう。
- ・地面の亀裂や陥没、また、電柱や塀などの転倒には十分注意しましょう。

⑥ 海岸や河川敷にいる時

- ・揺れが小さくても津波が起こることがあるので、できるだけ高いところ（近くのマンションやビルの3階以上）へ急いで避難しましょう。
- ・避難には車を使用しないでください。
- ・津波は繰り返し襲ってくるので、警報、注意報が解除されるまで海岸等には近づかないでください。

⑦ 大学内で地震が発生したら

【教室内にいる時】

- ・あわてて外へ飛び出さず、机の下などに身を伏せ、机の脚を押えてください。
- ・周辺がパニックに陥りそうな時は、「落ち着け」「机の下にもぐれ」など、大きな声を掛け合しましょう。
- ・身を隠す場所がない場合は、できるだけ転倒物や落下物の危険がない広い場所で衣服や持ち物で頭を覆ってかがみこみ、落下物から身を守りましょう。
- ・窓ガラス付近はガラスが割れて飛散する場合があります、大変危険です。ブラインドやカーテンを閉めて、急いで窓際から離れてください。
- ・ドア付近にいた場合は、ドアを開け、出口を確保してください。
- ・体育館にいる場合は、安全な場所に身をかがめ、落下物に注意しましょう。

【実験中】

- ・「火を消せ」と声を掛け合い、すぐに火の始末をしてください。電気機器などの電源を切り、ガスボンベを閉めて危険なガスの流出を防いでください。ただし、揺れが大きく、火の始末が不可能な場合は、まず身の安全を確保しましょう。
- ・火災が発生した場合は、大学内での消火は基本的に教職員があたるので、その指示に従い、揺れがおさまってから避難しましょう。

【廊下、階段にいる時】

- ・壁が倒れてくる可能性があるので、壁には寄らず、できるだけ教室に避難して机の下にもぐりましょう。
- ・教室がない場合は、蛍光灯などの下から離れ、衣服や持ち物などで頭を覆い、かがみこんでください。
- ・渡り廊下や階段を通行中の場合は、速やかにそこから離れ、安全な場所に退避してください。

【エレベーターに乗っている時】

- ・最寄りの階のボタンを押して、停止した階でおりましょう。
- ・途中で停止した場合は、非常ボタンやインターホンで外部に救助を求めてください。

【屋外にいる時】

- ・速やかに建物、高い壁、送電線などから離れてください。

【避難】

- ・教室にいる場合は教職員の指示に従って避難しましょう。あわてず、声を掛け合っ
て、できるだけ集団で冷静に避難してください。
- ・大きな地震には余震がある可能性が高いので、大きな建物の周囲は避けてグラウンド
など広い場所に避難しましょう。
- ・落下物や機械類、棚などの転倒、地震による段差や陥没などに十分注意して、速や
かに避難してください。
- ・避難は徒歩で、また、持ち物は最小限にとどめてください。
- ・身障者や負傷者がいる場合は、手助けしながら避難しましょう。
- ・重症などにより、避難できなかった人や行方不明者がいる場合は、教職員にすぐに
報告してください。
- ・室内は壁をつたい、廊下では中央を通りましょう。また、エレベーターの使用は厳
禁です。必ず、階段を使用するようにしましょう。
- ・停電している場合は、緑色の誘導サインなどを目印に避難しましょう。

【避難後について】

- ・ラジオやテレビ、インターネット、携帯電話などからの確な情報を得て行動するこ
とが大切です。決して、誤った情報に惑わされたり、広めたりすることのないように
しましょう。
- ・自分の身の安全が確保された後は、近隣の消火活動や救護活動、救援物資の分配な
どに協力しましょう。
- ・大学においては、災害対策本部が設置され、適宜情報が流されるので、インターネ
ットなどを通じて情報を収集してください。

(6) 台風

日本では、7月から10月にかけて、強風と大雨を伴う台風のシーズンとなります。台風が近づいたら、外出、スポーツ(特にハイキングや登山、釣り、海水浴など)をする場合は、気象情報に十分注意してください。台風シーズンの旅行では、交通、通信手段が使えなくなることもあるので、注意してください。また、土地の低い場所では床上浸水など被害をもたらします。川、海などの水辺へは絶対に近づかないようにしましょう。

● 台風へ備えて

- ・停電に備えて懐中電灯やローソク、携帯ラジオを準備しておきましょう。
- ・庭やベランダなどに物が置いてある(鉢植え、物干しなど)場合は、強風で飛ばされることもあるので、屋内にしまうか、または、固定しておきましょう。
- ・ガラス戸は飛ばされた物で割れることがあるので、雨戸がある場合には必ず雨戸を閉めましょう。
- ・断水することもあるので、非常用の飲料水、食糧の確保をしておきましょう。また、救急用薬品も用意しておきましょう。
- ・むやみに外出せず、気象情報に注意して適切に行動しましょう。

IV 各種申請届出書類等

別紙様式のとおり

- | | |
|--------------------|------|
| ・ 留学生各種変更届 | 様式 1 |
| ・ 一時出国届 | 様式 2 |
| ・ 資格外活動（報告・変更）書 | 様式 3 |
| ・ 私費外国人留学生証明書交付申請書 | 様式 4 |

(様式1)

留 学 生 各 種 変 更 届

平成 年 月 日

国際センター所長 様

(住所・電話番号・携帯電話番号・在留資格・在留期間)に変更があったので届出します。

学部・研究科名 _____
 学 年 _____
 氏 名 _____

(変更内容)

変 更 項 目	区分	変 更 内 容
住 所	旧	〒 -
	新	〒 -
電 話 番 号	旧	
	新	
携 帯 電 話 番 号	旧	
	新	
在 留 資 格	旧	
	新	
在 留 期 間	旧	平成 年 月 日～ 平成 年 月 日
	新	平成 年 月 日～ 平成 年 月 日
そ の 他 ()	旧	
	新	

* 変更項目だけ記入してください。

(様式2)

一時出国届

平成 年 月 日

国際センター所長 様

下記のとおり一時出国しますので届出します。

学部・研究科名 _____
学 年 _____
氏 名 _____

項 目	内 容
出 国 先	
出 国 期 間	平成 年 月 日 () から 平成 年 月 日 () まで
出 国 目 的	
出国期間中の 緊急連絡先	

(緊急連絡先が本人以外の場合は、本人との関係を明示して下さい。)

資格外活動（報告・変更）書

平成 年 月 日

国際センター所長 様

学部・研究科名 _____

学 年 _____

氏 名 _____

以下のとおり（決定 ・ 変更）しましたので、報告します。

項 目	内 容
資格外活動許可番号	
資格外活動許可期限	平成 年 月 日まで
勤 務 先	(企業名等) (所在地) (電話番号) (期 間) 平成 年 月 日～平成 年 月 日 (週間勤務時間) ・平日 : 時～ : 時 (時間) ・土曜 : 時～ : 時 (時間) ・日曜 : 時～ : 時 (時間) 合計 時間 (業務内容)

* 資格外活動許可書の写しを添付してください。

(様式4)

*原則として翌日午後発行です。急ぐ場合は申し出てください。

私費外国人留学生証明書
交付申請書

平成 年 月 日

国際センター所長 様

氏 名 : _____
生年月日 : 19__年__月__日
国 籍 : _____
_____学部 _____回生
_____研究科 修士__回生
_____博士__回生
卒業生(_____年度卒)

下記のとおり、証明書・推薦書の交付を申請します。

記

1 理 由

- (1) 在留期間更新申請のため (現在留期限 年 月 日まで)
- (2) 在留資格変更申請のため (現在資格 → に変更)
- (3) その他 (_____)

2 申請内容

- (1) 奨学金の受給証明 (奨学金の名称 : ①学習奨励費
②その他[名称 : _____])
支給期間 : _____年_____月~_____年_____月,
月 額 : _____円
- (2) 授業料減免証明 (① 半額免除 ② 全額免除)
- (3) 推薦状 (特定活動への在留資格変更または在留期間更新の申請時)

3 そ の 他 (推薦状発行の場合は、現住所・直近の活動内容を記載のこと)

V その他参考事項

○ 大阪入国管理局

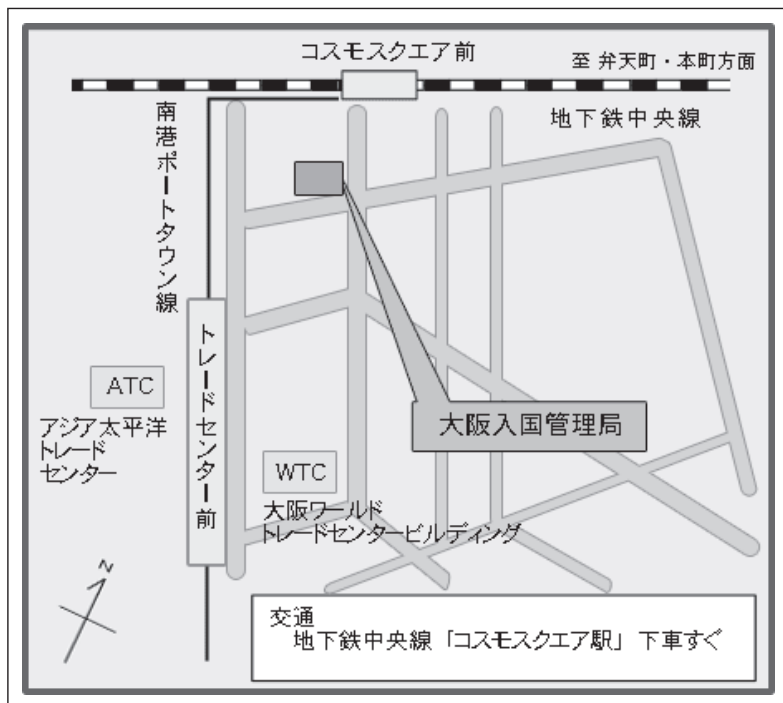
〒559-0034 大阪市住之江区南港北1丁目29番53号

TEL: 06-4703-2100

交通機関：地下鉄中央線「コスモスクエア駅」下車すぐ

【大阪入国管理局、天王寺出張所、大阪港分室、茨木分室及び外国人在留総合インフォメーションセンター大阪は上記新庁舎に移転しました。】

<http://www.immi-moj.go.jp/soshiki/kikou/osaka.html>



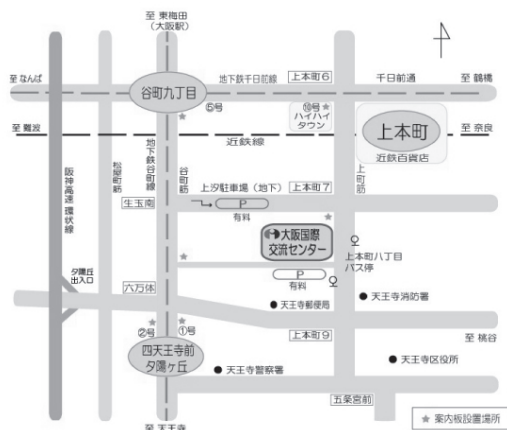
○ 財団法人 大阪国際交流センター

〒543-0001
 大阪市天王寺区
 上本町 8丁目 2番 6号

TEL : (06) 6772-5931 (代)
 /FAX (06) 6772-7600

URL: <http://www.ih-osaka.or.jp>

交通機関：
 地下鉄谷町線「谷町9丁目」駅
 の場合は5番出口、



○ 財団法人 大阪府国際交流財団
 Osaka Foundation of International Exchange

〒540-0029
 大阪市中央区本町橋2-5
 マイドームおおさか5階

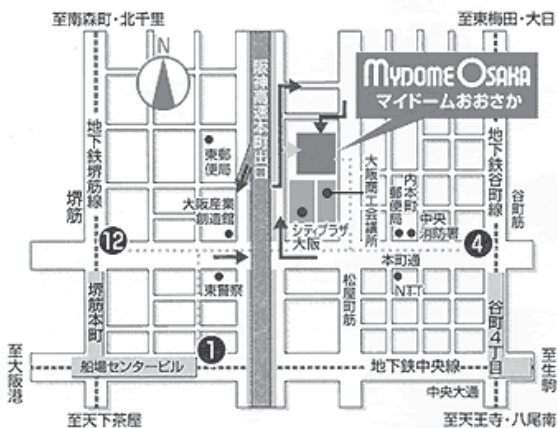
TEL : 06-6966-2400
 FAX : 06-6966-2401

URL: <http://www.ofix.or.jp>

交通機関：
 地下鉄中央線・堺筋線
 「堺筋本町」駅の場合
 1・12番出口

地下鉄谷町線「谷町四丁目」駅
 の場合4番出口

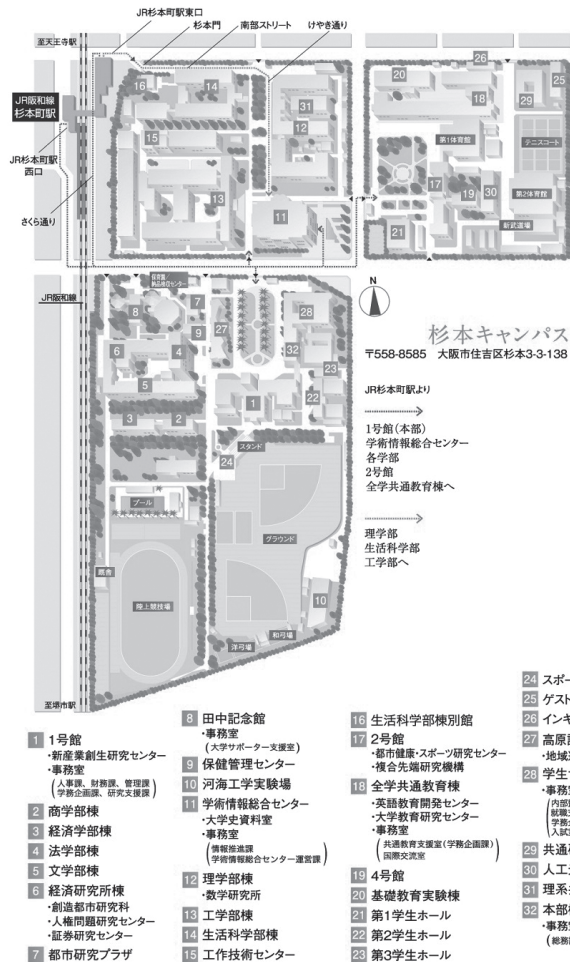
(マイドームおおさか5階)



■ 杉本キャンパス

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

JR「杉本町(大阪市立大学前)駅」下車、東へ徒歩約5分



阿倍野キャンパス

〒545-8585

大阪市阿倍野区旭町1-4-3

- 1 医学部学舎
- 2 附属病院
- 3 医学部南館
- 4 医学情報センター(6F)
- 5 医療研修センター(8F)
- 6 学術情報総合センター-医学分館(8~9F)
- 7 医学部看護学科学舎



■ 梅田サテライト

〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-600 (大阪駅前第2ビル6階)

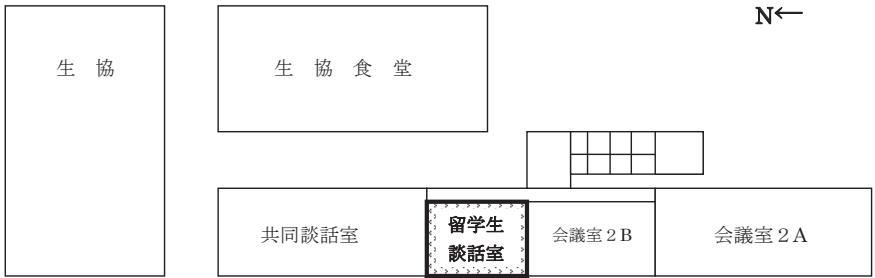
JR 東西線「北新地駅」下車、徒歩約1分
JR 大阪環状線、東海道線「大阪駅」下車、徒歩約3分

地下鉄四つ橋線「西梅田駅」地下鉄谷町線「東梅田駅」下車、徒歩約3分

阪神電鉄「梅田駅」下車、徒歩約2分

阪急電鉄「梅田駅」下車、徒歩約7分

第2学生ホール（2階略図）



○ 各学部の所在地・電話番号等

所在地	学 部 等	電 話 番 号	
杉本地区	国際センター	06-6605-	3558
	学生支援課（厚生担当）		2103
	”（教務担当）		2101
	商学部・大学院経営学研究科		2201
	経済学部・大学院経済学研究科		2251
	法学部・大学院法学研究科		2303
	文学部・大学院文学研究科		2353
	理学部・大学院理学研究科		2504
	工学部・大学院工学研究科		2653
	生活科学部・大学院生活科学研究科		2803
	大学院創造都市研究科		3507
人権問題研究センター	2035		
阿倍野地区	医学部・大学院医学研究科	06-6645-3611	
	看護学研究科	06-6645-3511	
梅田サテライト	大学院創造都市研究科	06-4799-3700	

[杉本地区] 学務企画課各学部・研究科事務室（ただし、医学部を除く）

所在地：〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

交通機関：JR阪和線「杉本町（大阪市立大学前）」駅下車、東口すぐ

[阿倍野地区] 医学部学務課事務室

所在地：〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3

交通機関：JR・地下鉄「天王寺」駅又は、近鉄「あべの橋」駅下車、西へ徒歩約10分

[梅田サテライト] 学務企画課創造都市研究科事務室

所在地：〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600（大阪駅前第2ビル6階）

交通機関：JR「北新地」駅・「大阪」駅、
地下鉄「梅田」駅・「東梅田」駅・「西梅田」駅、
阪神又は阪急「梅田」駅 下車

外国人留学生のしおり

発行 2017年4月

編集・発行 大阪市立大学 国際センター
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
TEL 06-6605-3558 / FAX 06-6605-3592

Guidebook for international students

English ver. starts from next page

Contents

Welcome	• • • • •	61
I Study at Osaka City University	• • • • •	62
1 Outline of Osaka City University	• • • • •	62
(1) History	• • • • •	62
(2) Faculties and Graduate Schools	• • • • •	63
(3) Academic year calendar	• • • • •	64
(4) Holidays	• • • • •	64
2 Administration offices for International Students	• • • • •	66
3 Tuition	• • • • •	67
(1) Method of payment	• • • • •	67
(2) Tuition exemption	• • • • •	67
4 Scholarships	• • • • •	68
(1) Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship student	• • • • •	68
(2) Privately financed student	• • • • •	68
5 International student support program	• • • • •	74
(1) Tutor Program	• • • • •	74
(2) Japanese language course and Japanese situation course	• • • • •	74
(3) Supplemental Japanese language course	• • • • •	74
(4) Events for international students	• • • • •	74
(5) Free Pass for cultural facilities	• • • • •	74
(6) After graduation	• • • • •	74
6 Health and medical care	• • • • •	75
(1) Annual health checkup	• • • • •	75
(2) National Health Insurance program	• • • • •	75
7 Facilities on Campus	• • • • •	76
(1) Global Village	• • • • •	76
(2) Meeting Room for International Students	• • • • •	76
(3) Media Center (library)	• • • • •	76
(4) Health and Medical Services Center	• • • • •	76
(5) Facilities for extracurricular activities	• • • • •	77
(6) Osaka City University CO-OP	• • • • •	77
(7) ATM	• • • • •	77
II Visa procedures	• • • • •	78
1 Visa	• • • • •	78
(1) Obtain Status of Residence	• • • • •	78

(2) Change of Status of Residence	78
(3) Extension of Period of Stay	78
(4) Temporary Departure From Japan and Re-entry	79
(5) Non-Academic Activities and Part Time Jobs	80
(6) To invite family members to accompany you	81
(7) Special visa for job-search activities after graduation	81
(8) Passport	82
2 Registration	83
(1) Obtaining a Resident Card	83
(2) Address Registration and Changes	83
(3) Notification of Changes other than Address	83
(3) Validity and renewal	83
(4) If you lose your Resident Card	83
3 Necessary Procedures at City or Ward Office	84
(1) National Pension	84
(2) Social Security and Tax Number	84
4 Returning to your home country	85
(1) At the university	85
(2) Outside the university	85
III Daily Life in Japan	87
1 Housing	87
(1) Residential facilities for international students	87
(2) Private housing	88
(3) Housing Guarantor System for International Students	88
(4) Others	88
2 Moving	89
3 Daily Life	90
(1) Electricity	90
(2) Gas	90
(3) Water	90
(4) Garbage Disposal	91
(5) Transportation	91
(6) Telephone	91
(7) Bank	92
(8) Postal Service	93
(9) Home Delivery Services “Takuhaibin”	94
(10) Shopping	95
(11) Newspapers	95
(12) TV and Radio	95
(13) Drivers license, Automobiles and Bicycles	96

IV In Case of Emergency	98
(1) Emergency health problems	98
(2) Fire	100
(3) Earthquake	101
(4) Traffic accident	103
(5) Robbery	104
(6) Typhoon	104
V Various notifications	105
VI Other reference materials	109

Welcome

To all international students, welcome to Osaka City University (OCU).

This guidebook provides information about the university and daily life in Osaka. We hope it will help you settle down, enjoy your new student life and concentrate on your study and research.

Please make sure to also read the General Education Syllabus/Course Guide (for undergraduate students), the Faculty/Graduate School Course Guide and the Campus Life guidebook.

For updated information throughout the year, please see the explanation below:

<All notifications from the university will be posted on the bulletin boards>

Please check the on-line bulletin board on the OCU Portal site every day:

<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja> ⇒



⇒ log-in ⇒

国際センター
Global Exchange Office

(or: <全学ポータルサイト ⇒ click on お知らせ ⇒ 国際センター/Global Exchange Office)

Please also check the physical bulletin board outside the Global Exchange Office (2nd floor of the General Education Building) whenever you come to the university.

All information regarding events, scholarships and other notices are posted on the bulletin boards.

You have full responsibility to obtain the necessary information from the bulletin boards yourself.



I. Study at Osaka City University

1. Outline of the university

(1) History

First Founding Institution

Osaka Commercial Training Institute was founded on November 15, 1880. It was reorganized as Osaka Prefectural Commercial School in 1885 and in 1889 was renamed Osaka City Commercial School following the establishment of Osaka City. In 1928, it became known as Osaka University of Commerce.

Second Founding Institution

Osaka City Technical School was founded in 1908; soon thereafter, it was renamed Osaka City Miyakojima Technical College.

Third Founding Institution

Osaka City Nishi Ward Girls' Higher Training School was established in 1921. It was later renamed Osaka City Seika Girls' High School, eventually becoming Osaka City Women's College.

Fourth Founding Institution

Osaka City Medical College was established in 1944. It was reorganized as Osaka City Medical School under the new national education system adopted in 1952. Following the reform of the education system in 1949, Osaka City University (OCU) was formed under its three parent organizations: Osaka University of Commerce, Osaka City Miyakojima Technical College, and Osaka City Women's College. Under the new system, OCU was launched as a university comprising the Faculty of Business, Faculty of Economics, Faculty of Law and Literature, Faculty of Science and Engineering, and Faculty of Home Economics. In September of that year, Osaka City Institute for Economic Research (established in 1928) was transferred from Osaka City to Osaka City University as a research institute attached to OCU. (The institute was abolished in 2006 when OCU was incorporated).

In 1953, Osaka City University established its Graduate Schools. These offered master's degrees in Business, Economics, Law, Literature and Human Sciences, Science, Engineering, and Home Economics, and doctoral degrees in Economics and Law. That same year, the Faculty of Law and Literature was split into the independent Faculty of Law and Faculty of Literature and Human Sciences; in 1959, the Faculty of Science and Engineering was split into the independent Faculty of Science and Faculty of Engineering. In 1955, the Faculty of Medicine was established, incorporating Osaka City Medical School (under the new educational system). In 1975, the Faculty of Home Economics was renamed the Faculty of Human Life Sciences.



In 1998, the Osaka City University College of Nursing was added. In 2003, the Graduate School for Creative Cities was established. In 2004, the School of Nursing was added to the Faculty of Medicine, and the Law School program was added to the Graduate School of Law. The Graduate School of Nursing was established in 2008.

With its eight faculties and ten graduate programs, Osaka City University is now one of the largest municipal universities in Japan.

(2) Faculties and Graduate Schools

8 Faculties

Business, Economics, Law, Literature and Human Sciences, Science, Engineering, Medicine, Human Life Science

10 Graduate Schools

Business, Economics, Law, Literature and Human Sciences, Science, Engineering, Medicine, Nursing, Human Life Science, Creative Cities

(3) Academic year calendar (2017~2018)

month	date	events
April	1	Start of Academic year
	3	Orientation for international students / Guidance for new undergraduate students / Web registration (until 5 April for faculties, until 11 April for graduate schools)
	5	Entrance ceremony / Orientation by Research Center for Human Rights / General orientation
	7	Entrance procedures and Regular health checkup (new students)
	10~July 21	First semester
	In the middle of the month	Regular health check-up (except new students)
	20~22	Welcome festival for new students
	21	Welcome party for new international students
June	1	Foundation Day of OCU (classes take place as usual)
July	24~August 4	Examination period for first semester (undergraduate students)
August	5~September 15	Summer vacation
September	16~30	Training period
October	2~February 13	Second semester
November	2~5	University Autumn Festival
December	23~January 8	Winter vacation
January	30~February 13	Examination period for second semester (undergraduate students)
February	14~March 19	Training period
March	20~31	Spring vacation

(4) Holidays

Saturdays and Sundays

Year-end and New Year holidays (December 29th~January 4th)

National holidays (by The Public Holiday Law)

*When a National Holiday falls on a Sunday, the following Monday becomes a holiday

2017-2018 National holidays		
Date	name	Remarks
April 29	Showa Day	This day originally used to be celebrated as the birthday of Emperor "Showa". It now commemorates the turbulent history of the Showa period.
May 3	Constitution Memorial Day	This day commemorates the date on which Japan's postwar constitution took effect.
May 4	Greenery day	This holiday was established for friendship with nature and gratitude for its blessings.
May 5	Children's Day	Day to wish for the health and happiness of children.
July 17 (Third Monday of July)	Marine Day	A day of gratitude for the blessings of the oceans and for hoping for the prosperity of Japan as a maritime nation.
August 11	Mountain Day	A day to appreciate the mountains
September 18 (Third Monday of September)	Respect-for-the-Aged Day	A day to express respect for elderly people, to thank them for their contribution to society over many years, and to celebrate their longevity.
September 23	Autumnal Equinox Day	Start of autumn and a day to remember your deceased ancestors and other family members.
October 9 (Second Monday of October)	Health and Sports Day	A day for enjoying sports and cultivating a healthy mind and body.
November 3	Culture Day	A day to celebrate the development of culture in Japan.
November 23	Labor Thanksgiving Day	A day for commemorating labor and production and giving one another thanks.
December 23	The Emperor's Birthday	The birthday of the reigning emperor.
January 1	New Year's day	New Year is one of the most important celebrations in Japan.
January 8 (Second Monday of January)	Coming of Age Day	All people who turn 20 this year are celebrated on this national holiday.
February 11	National Foundation Day	A day to reflect on the establishment of the nation and to nourish love for the country.
March 21	Vernal Equinox Day	Start of spring and a day for the admiration of nature and living things.

2. Administration offices for International Students

Please contact the faculty/graduate school office in the Student Support Center regarding

- ① Academic subjects

Please contact the Global Exchange Office in the General Education Building regarding

- ① Study and daily life
- ② Tuition exemption and scholarships
- ③ Tutors
- ④ OCU International Residence and other housing
- ⑤ Facilities for international students

Various certificates and notifications

Types	Where to obtain	Additional information
Notification of absence from school	Faculty/graduate school office in the Student Support Center	-Please apply as early as possible. -Please read the General Education Syllabus/Course Guide and Faculty/Graduate School Course Guide carefully.
Notification of change of guarantor		
Notification of change of address		
Application for withdrawal from school		
Application for supplementary exams		
Application for reissue of student card		
Certificate of enrollment	location of certificate issuing machine · Student Support Center · 1st floor of Media Center · 1st floor of Faculty of Medicine Building · Umeda Satellite	-Use the certificate issuing machine to obtain these certifications 100JPY/each 200JPY/Certificate of health checkup*. *It is essential to take the annual medical exam.
Transcript of academic record		
Certificate of expected graduation		
Certificate of graduation		
Certificate of health checkup		
Certificate of MEXT scholarship	Global Exchange Office	100JPY/each. Certificates are issued the next day (after 13:00).
Certificate of scholarship		
Certificate of tuition exemption		
Notification of change of any kind		
Temporary exit from Japan		
Report of part time job		

【Outside organizations】 Osaka International House Foundation, 8-2-6 Uehonmachi, Tennoji-ku, Osaka-shi, Osaka, Tel: 06-6773-8182, <http://www.ih-osaka.or.jp/> (please see page 45 for a map)

3. Tuition

(1) Method of payment

You will need to pay the following three fees:

- | | | |
|---|-----------------|--|
| ① | Application fee | Please pay when you submit the application (necessary only once) |
| ② | Admission fee | Please pay when you enroll in the university (necessary only once) |
| ③ | Tuition fee | Payment is twice per year for six month periods in May and October (necessary each year) |

(* Tuition fee may be amended)

(Students on MEXT scholarships and short-term exchange students under Academic Exchange Agreement programs that mutually waive tuition fees do not need to pay the above fees)

(2) Tuition exemption

Regular privately financed undergraduate and graduate degree students who have satisfactory academic records but are having financial difficulties may apply for tuition reduction or exemption (availability depends on the university budget limits).

- | |
|---|
| <p>① Eligibility: Regular privately financed undergraduate and graduate degree students (students with a scholarship from a foreign government are not eligible)</p> <p>② Application period: Middle of April (we will post details on the portal site and bulletin boards in March)</p> <p>③ Exemption amounts: 100%, 50% or 30% of the tuition fee</p> <p>④ Contact: Global Exchange Office: 06-6605-3558</p> |
|---|

Applicants have to obtain an application form and submit it with all other required documents by the deadline (in the middle of April). Selection takes place based on the submitted documents and study results.

4. Scholarships

(1) For Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship students

Graduate students receive 146,000JPY (research students) 147,000JPY (master’s course) or 148,000JPY (doctoral course).

(as of March 2017, Monthly stipend may be amended)

(2) For privately financed students

It is difficult for privately financed students to cover the cost of living in Japan. Every student hopes to be awarded a scholarship; however, since the resources of the scholarship programs are limited, the competition is very high.

Some scholarship programs require a recommendation from the university, while others can be applied for directly by students. For scholarships that require recommendation from the university, candidates are selected from among applicants and these candidates’ applications are submitted by the Global Exchange Office to the foundation of the scholarship program.

Notifications and application guidelines are posted on the on-line bulletin board on the OCU Portal site or the bulletin board in front of the Global Exchange Office. (In some cases, depending on the conditions of the scholarship, we contact potential candidates directly.) Be sure to submit your application form and any other required documents within the designated period. If you wish to apply for a scholarship which requires recommendation from the university, you have to submit a “Registration form to apply for scholarships via OCU” (kakusyu syogakukin kibochosyo) to the Global Exchange Office in April.

Contact: Global Exchange Office: 06-6605-3558

Students can apply for the following scholarships (as of March 2017):

① The Japanese Government Scholarship (domestic application basis) and Honors Scholarship (JASSO)

Scholarship name	Eligibility	Duration	Application period	Amount (per month)
Japanese Government Scholarship (domestic application basis) - temporarily not available -	Graduate students or students who expect to enter a graduate course	Minimum years for graduation	November	Master: 147,000JPY Doctoral: 148,000JPY
Honors Scholarship (JASSO)	Undergraduate and Graduate students (selected from students who submitted the “Registration form to apply for scholarships via OCU”	1 year	May	48,000JPY

② OCU Scholarship

Scholarship name	Eligibility	Duration	Application period	Amount (per month)
Osaka City University Urakami Scholarship	Female international students in 1 st year of Master, Doctoral or Professional Course	Lump sum	December	100,000JPY

③ Private and Public Scholarships

Private scholarships are offered by private organizations, local governments and public organizations. Monthly stipends vary from 30,000JPY to 150,000JPY. Conditions vary depending on the program. Please check the OCU Portal site or the bulletin board in front of the Global Exchange Office and if you wish to apply, please contact the Global Exchange Office.

You can also find more information about scholarships offered throughout the year on the website of the Japan Student Services Organization (JASSO): <http://www.jasso.go.jp>

Scholarship or Foundation Name	Eligible Applicants			Duration	Application Period	Amount (per month, in JPY)
	Undergraduate	Graduate	Conditions (Nationality, Major, Age etc.)			
Sato Yo International Scholarship Foundation	○	○	• ASEAN or South-West Asian nationalities	2 years	November	Undergraduates 150,000 Graduates 180,000
Otsuka Toshimi Scholarship Foundation		○	• Student major in field related to Management, Engineering (Engineering fields related to medicine or pharmacy only)	1 year	October	Annual 2,000,000 1,500,000 or 1,000,000
JT Asia Scholarship		○	• Asian nationalities • Under age35	2years (maximum)	October	150,000
Mitsubishi Shoji Scholarship	○	○	• 3rd or 4th year of Bachelor Course	Minimum years for graduation	November	Undergraduates 100,000 Graduates 150,000



Rotary-Yoneyama Memorial Foundation Scholarship		○	○	<ul style="list-style-type: none"> • under age 45 • 3rd/4th year of Bachelor, 1st/2nd year of Master, 2nd/3rd of Doctor 	2 years (maximum)	September	Undergraduates 100,000 Graduates 140,000
Docomo Foreign Students Scholarship			○	<ul style="list-style-type: none"> • Asian Nationalities • 1st year of Master Course • Students major in Communication Engineering, Information Science fields or other related field • Students major in Cultural, Social Science and fields considered to be practical for the research 	2 years	April	120,000
Hattori International Scholarship Foundation		○	○	<ul style="list-style-type: none"> • ASEAN nationalities • Bachelor under age 30 • Master under age 35 • Doctor under age 40 	2 years	December	Undergraduates/Graduates 100,000
Heiwa Nakajima Foundation (Nakajima Kenkichi Memorial Scholarship)		○	○		1 year	September	Undergraduates/Graduates 100,000
Ichikawa International Scholarship Foundation	Regular recruitment	○	○	<ul style="list-style-type: none"> • Asian nationalities • under age 35 	2 years	December	Undergraduates/Graduates 100,000
	Autumn recruitment	○		<ul style="list-style-type: none"> • Asian nationalities • under age 25 	1 year	August	100,000



Kawashima Shoji Memorial Scholarship	○	○	<ul style="list-style-type: none"> • Students major in Cultural Sciences, Social Sciences, Natural Sciences 	2 years	October	100,000
Kyoritsu International Foundation	○	○	<ul style="list-style-type: none"> • Asian nationalities • 1st/2nd year of Bachelor, 1st year of Doctoral course 	1 or 2 years	November	Undergraduates 60,000 or 100,000 Graduates 100,000
SGH Scholarship Foundation	○	○	<ul style="list-style-type: none"> • Southeast Asian nationalities • 3rd year of Bachelor Course • 2nd year in Doctoral Course (3rd year of Faculty of Medicine) • Undergraduates under age 27 • Graduate students under age 35 	2 years	March	100,000
Toyota Tsusho Scholarship	○	○	<ul style="list-style-type: none"> • 2nd year Students in Bachelor, or Students in Master or Doctor course (at time of application) • Students major in Social science, Cultural science and Science and Engineering field 	2 years	October	Undergraduates/Graduates 100,000
Yasuda Scholarship Foundation	○		<ul style="list-style-type: none"> • 1st year of Bachelor major in Law, Economics, Management or Commercial Science (at time of application) 	3years(maximum)	November	100,000
Dai-yu-kyo foundation of international exchange, assistance & research	○	○	<ul style="list-style-type: none"> • Resident of Osaka Prefecture • 1st year of Bachelor/Master/Doctor course 	Minimum years for graduation	October	Undergraduates 50,000 Graduates 70,000

Korian Scholarship Foundation	Regular recruitment	○	○	<ul style="list-style-type: none"> • Korian nationalities • Bachelor under age30 • Master/Doctor under age 40 	1 year	March	Undergraduates 25,000 Master 40,000 Doctor 70,000
	Recruitment for 1st year of University	○		<ul style="list-style-type: none"> • Korian nationalities • Bachelor under age30 • with grades at least 3.2 out of 5 in last year of high school 	1 year	June	25,000
Fujii International Scholarship Foundation		○	○	<ul style="list-style-type: none"> • Asian nationalities 	Minimum years for graduation	September	50,000
JEES Japanese Education Scholarship		○	○	<ul style="list-style-type: none"> • Successful candidate of examination of Japanese by JEES • Bachelor 1st~3rd year/Master 1st year or Doctor 1st/2nd year (Students of Graduate School of Medicine 3rd year as well) (at time of application) 	2 years	April	50,000
Ninety-Nine Asian Student Scholarship Foundation		○	○	<ul style="list-style-type: none"> • Asian Nationalities • Students in Engineering or Science field 	Minimum years for graduation	April	Undergraduates/Graduates 50,000
Takizaki Memorial Asian Student Scholarship		○		<ul style="list-style-type: none"> • Asian Nationalities • Students in Engineering or Science field 	Minimum years for graduation	April	50,000
Honors Scholarship (MEXT/JASSO)		○	○		1 year	May	Undergraduates/Graduates 48,000



Okahata Seifu Scholarship	○		<ul style="list-style-type: none"> • 1st year of Bachelor • Student of Faculty of Engineering or Science • East or Southeast Asian nationalities 	Minimum years for graduation	April	40,000
Yamamoto Takeo Memorial Scholarship	○			Minimum years for graduation	April	30,000
Nikki Saneyoshi Foundation Scholarship	○	○	<ul style="list-style-type: none"> • Students major in Engineering or Science field 	1 year	April~November	Annual 250,000
Osaka City University Urakami Scholarship		○	<ul style="list-style-type: none"> • Female Students in 1st year of Master, Doctoral, Professional Course 	Lump sum	—	100,000

5. International student support program

(1) Tutor Program

This program is to help first-year students adjust to Japanese culture, college environment and daily life, as well as to provide language support. Upon request, tutors are assigned to undergraduate or graduate students during their first half year at OCU (where possible the period may be extended).

Contact: Global Exchange Office: 06-6605-3558

(2) Japanese Language Course and Japanese Affairs Course

These are regular academic courses for undergraduate students and awarded with credits.

Contact: General Education Section: 06-6605-2932

(3) Supplemental Japanese language class (every Monday)

The supplemental Japanese language class is for international students who want to improve their Japanese language ability. This is not part of the regular academic program and not awarded with credits. Classes are offered every Monday in the 3rd and 4th period (as of 2016). Educational materials are available on loan.

Contact: Global Exchange Office: 06-6605-3558

(4) Events for international students

There are several events such as a one-day excursion, international student festivals, etc. with opportunities to get in touch with Japanese culture, history and nature, organized by the university and various international students support groups. Please check the on-line bulletin board on the OCU Portal site and the bulletin board of the Global Exchange Office. We hope you will join and enjoy as many events as possible.

(5) Free Pass for cultural facilities

All degree students with a 'student' residency status will receive a free pass for certain historical spots, art, museums and other cultural facilities in Osaka. The passes are handed out in May by the faculty/graduate school offices.

(6) After graduation

Please notify the Global Exchange Office of your address and your place of employment as we keep a list of Osaka City University graduates.

6. Health and Medical care

Please take good care of your health. In case of illness or injury students can go to the Health and Medical Services Center at the university (Sugimoto campus).

You can find information on hospitals where English (or other languages) is spoken here:

http://www.mhlw.go.jp/english/policy/health-medical/medical-care/info_hospitals.html

http://www.jnto.go.jp/eng/arrange/essential/emergency/mi_guide.html#search

(1) Annual health checkup

All regular students are required to take an annual checkup in spring (mid April~mid May). With this checkup, we will issue a health certificate which is required when you apply for scholarships and dormitories. International students on an exchange program do not have to take the health checkup, but might be asked to obtain a health certificate from a doctor in their home country to apply for dormitory accommodation before coming to Japan.

(2) National Health Insurance program

All international students who reside in Japan (including accompanying family members) for more than 3 months must join the National Health Insurance program.

You must pay an annual premium but it will cover 70% of your medical expenses. When going to a medical institution, present your insurance card at the reception. This insurance covers some part of dental treatment, chronic diseases and childbirth which may not be covered by general overseas traveler's personal accident insurance.

To become a National Health Insurance policyholder, go to the City/Ward office where you live, and present your passport, Resident Card and Hanko if you have one. If your income is low, you can apply for a discount of the premium.

In case of major medical expenses incurred as a result of hospitalization etc, you may be eligible to get additional reimbursement. Please consult at the City/Ward office.

- ① Students who will reside in Japan for more than 3 months must join the National Health Insurance.
- ② You have to apply at the ward or city office.
- ③ You have to pay a premium for the insurance. However, as your income as a student will probably be relatively low, the amount you have to pay will be lowered. Please confirm at the ward or city office.
- ④ If due to sickness etc. you have very high costs for health care in a certain period, you may be eligible for a refund. Please confirm at the ward or city office.

7. Facilities on Campus

(1) Global Village

【Open Monday~Friday 9:00~18:00, outside-hours use also possible upon application】

The Global Village, located at the ground floor of the General Education Building at the Sugimoto Campus, is a space open every weekday for all OCU students and staff. At the Global Village you can relax, join events, organize your own events, do a language exchange, practice your English at the English Café, get information about life in Japan, exchange programs, scholarships and more. If you want to use the Global Village for an event or meeting, you can apply by handing in an application form which you can download from the Portal Site. In that case it is also possible to use the Global Village in the evening or in the weekend.

<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/international/global-village>

(2) Meeting Room for International Students

On the 2nd floor of the Second Student Hall (building nr. 22 on the campus map)

This room is exclusively available for prayer during the following hours:

12:00-14:00

15:30-16:30

18:00-19:30

To use the prayer room, please register first with the Global Exchange Office (you only need to register the first time).

Contact: Global Exchange Office (06-6605-3558)

Halal meals:

The canteen of the Kansai Kenshu Center, near Sugimoto Campus) offers halal meals.

For more information: <http://www.hidajapan.or.jp/en/center/about/kkc.html>

(3) Media Center (library)

Students can use the Media Center at Sugimoto Campus and the Medical library at Abeno Campus. A magnetic student card is necessary to enter these facilities. Please check the opening hours on the bulletin board there or on the website.

Contact: Media Center General Affairs Division: 06-6605-3240

Medical library: 06-6645-3491

<http://www.media.osaka-cu.ac.jp/index.html>

(4) Health and Medical Services Center

Health advice, physical examinations, first aid, health checkups and mental health consultations are available at the Health and Medical Services Center.

You are welcome to consult with them on anything health related. Depending on the issue, you may be referred to another clinic or hospital.

Contact: Health and Medical Services Center: 06-6605-2108

(5) Facilities for extracurricular activities

To use sports facilities privately, you have to be a member of one of the circles or clubs and you need approval in advance.

Contact: Contact: Student Support Department: 06-6605-2103

(6) Osaka City University CO-OP

① Cafeterias

There are four cafeterias at Sugimoto Campus (one in each student hall, one at the 1st floor of the Tanaka Memorial Hall and one at the 1st floor of the Media Center) and one at Abeno Campus. They are closed on weekends and national holidays and have limited opening hours during university holidays.

② Shops

There are two shops at Sugimoto Campus (one in each student hall) and one at Abeno Campus. They are closed on weekends and national holidays and have different opening hours during university holidays.

Contact: CO-OP General Affairs Division: 06-6605-3011

<http://osaka-cu.hanshin.coop/>

(7) ATM

ATMs (operated by Osaka Shinkin Bank and Sumitomo Mitsui Banking Corporation) are located on the 1st floor of the Media Center at Sugimoto Campus and at the Abeno Campus on the B1 floor of the hospital.

II. Visa procedures

1. Visa

Status of Residence

As an international student, in principle you have “Student” residence status.

(1) Obtain Status of Residence

On your arrival, an immigration officer examines if your passport and visa are valid, your purpose of entry and expected period of stay. If you are permitted to enter Japan, your status of residence and period of residence will be decided, and confirmed with a “landing permission” stamp on your passport.

(2) Change of Status of Residence

In case you want to change your status of residence, you need to apply for permission at the regional Immigration Bureau (not all applications will be approved). To be eligible for a scholarship or dormitory room, you must have “Student” residence status.

The process may take between 1~3 months. Please apply in time.

Required Documents (Additional documents may be required*)

- ① Application form for change of status of residence (can be obtained at the regional Immigration Bureau or downloaded from Immigration Bureau website: <http://www.immi-moi.go.jp/english/tetuduki/kanri/shyorui/02.html>).
- ② An application fee of 4,000JPY.
- ③ Certificate of Admission or Certificate of Enrollment (from certificate issuing machine at OCU).
- ④ Documents certifying the substance of the research or subject, and the number of classes (for research students and auditors).
- ⑤ You must be able to show your Passport and Resident Card.
- ⑥ 1 photo (4x3cm), write your name on the back and attach it to the application form.
- ⑦ If you have a ‘Permission to engage in activity other than that permitted under the status of residence’ you must be able to show it.

(3) Extension of Period of Stay

In case you wish to extend the permitted term of your stay, you need to apply for an extension. Please take the necessary procedure at the regional Immigration Bureau before your initial period of stay expires. You can apply from three months before the expiry date. You must apply BEFORE your permit expires.

Please realize that your permit may not be extended if you obtained only very few study credits in the previous year.

The process may take between 2~3 months. Please apply in time.

Required Documents (Additional documents may be required*)

- ① Application form for extension of period of stay (can be obtained at the regional Immigration Bureau or downloaded from Immigration Bureau website: <http://www.immi-moj.go.jp/english/tetuduki/kanri/shyorui/03.html>).
 - ② An application fee of 4,000JPY.
 - ③ Certificate of enrollment (from certificate issuing machine at OCU).
 - ④ Transcript of Academic Record (from certificate issuing machine at OCU).
- (1) For undergraduate and graduate students:
If you just entered university in April and you do not yet have academic results, use the academic results, attendance records and graduation certificate of your last school.
- (2) For research students:
Also supply a letter from your Graduate School that describes the content of your research.
- (3) Auditors:
Also supply a document from your Graduate School listing the courses (including hours) you are taking.
- ⑤ 1 photo (4x3cm), write your name on the back and attach it to the application form.
 - ⑥ Passport and Resident Card.
 - ⑦ If you have a 'Permission to engage in activity other than that permitted under the status of residence' you must be able to show it.

*if you study at the Graduate School for Creative Cities and you have filled in 'Day-Evening Classes' as the Type of Class (page 4, item 2-4 of the application form), you need to submit a statement by OCU of "proper student administration" (在籍管理整備書). Please ask for this at the administrative office of the Graduate School. Please allow the office some time to prepare the form.

*The preparation of the necessary documents takes 2~3 weeks. Please start preparing in time.

*Necessary documents can differ per person and per case. Please confirm also with the Immigration Bureau.

*The Global Exchange Office issues Certificates of scholarship and Certificates of tuition exemption.

(4) Temporary Departure from Japan and Re-entry

If you temporarily leave Japan to go home or traveling to other countries, please make sure your visa period does not expire before you return to Japan. If your visa period expires while you are abroad, you will need to go through the entire visa application process again.

If you leave Japan for less than 1 year, you no longer need to apply for a re-entry permit beforehand (this permission to re-enter within 1 year is called 'Special Re-entry Permit'). At the airport when you leave you need to fill in an 'Embarkation Card for Re-Entrant'. Do not forget to check the box for 'I am leaving Japan temporarily and will return'. You also need to show both

your passport and your Resident Card.

Please note:

- ① Do not forget to check the box for 'I am leaving Japan temporarily and will return' on your 'Embarkation Card for Re-Entrant' and show your Resident Card when you leave.
- ② If your visa period expires while you are abroad, or if you stay away for more than one year, you will lose your visa and will have to re-apply.
- ③ It is not possible to extend your visa or your 'Special Re-entry Permit while you are abroad. If there is any chance you will be away for more than one year you should apply for a re-entry permit at the Immigration Bureau (not at the airport) before you leave.

*No fee is charged for the 'Special Re-entry Permit'.

You also need to inform your faculty/graduate school office and submit a temporary departure form (form 2 at the end of this manual) to the Global Exchange Office. Japanese Government Scholarship students must pay special attention to notify the Global Exchange Office, because additional important procedures are required, such as signing the scholarship payment sheet.

(5) Non-Academic Activities and Part Time Jobs

Those with "student" resident status are not permitted to work or be compensated in the form of payment. **In order to work a part time job, you must apply for a 'Permission to engage in activity other than that permitted under the status of residence'.** **If you work without this permit, you will be subject to punishment or deportation from Japan.** You are allowed to work for a maximum of 28 hours per week for regular students and research students or 14 hours for auditors. During a long holiday season, you are allowed to work for a maximum of 8 hours a day.

Make sure to comply with the following rules:

- Work only to the extent your permit allows
- The job must not affect public order and morals.

Notes:

-long holiday seasons are the summer, winter and spring holidays of OCU. However, the training periods are not considered as long holiday season! (for the exact periods see 'academic year calendar' at the beginning of this guide). As long as you stay within the maximum of 28 hours per week (14 hours for auditors), you may distribute the days and hours as you like.

-the Permission to engage in activity other than that permitted under the status of residence' only allows you to work a part-time job during the time that you are a student. The permission stops immediately when you graduate. Make sure to terminate your part-time work immediately after you graduate.

Submit a 'Report of part-time job' (see Annex form 3) to the Global Exchange Office when your

place of work is decided or changed.

Required Documents for a 'Permission to engage in activity other than that permitted under the status of residence'

- ① Application form for 'Permission to engage in activity other than that permitted under the status of residence'. Downloadable from the website of the Immigration Bureau.
- ② A document clearly explaining the activities
- ③ Passport and Resident Card

(6) To invite family members to accompany you

If you wish to invite your family to Japan, you need to apply for a 'Certificate of Eligibility' for your family members at the regional Immigration Bureau. Although it usually takes about a month, the time required for issuance of the certification depends on which country you are from and your personal circumstances. Send the certification to your family so that they can attach it when they apply for the visa at the Japanese Embassy, which will significantly shorten the time before the visa is issued (without the certification, it may take 2~3 months).

Required Documents (Additional documents may be required)

- ① Application form for a 'Certificate of Eligibility' (can be obtained at the regional Immigration Bureau or downloaded from the Immigration Bureau website: <http://www.immi-moj.go.jp/english/tetuduki/kanri/shyorui/01.html>).
- ② Copy of your passport or Resident Card.
- ③ Document certifying your ability to support your family (Certificate of scholarship student of Monbukagakusho or other scholarships are issued by the Global Exchange Office).
- ④ Certificate of enrollment (from certificate issuing machine at OCU).
- ⑤ Document verifying the relationship between you and your family.
- ⑥ Two 4x3cm photos of the applicant.
 - Taken within 6 months prior to the application.
 - Write the name of the applicant on the back of the photo.
- ⑦ Self-addressed stamped envelope (with sufficient postage for 'registered mail-simplified registration').

*Total time needed is approximately 1~3 months

*Additional documents may be required.

(7) Special visa for job-search activities after graduation

If you looked for employment when you were a student but were not able to find a job before your graduation, you can apply to change your status of residence to a category called 'Designated Activities', which allows you to continue to search for a job for a period of 6 months (possible to extend once more up to 1 year in total). To apply you need a recommendation from OCU. Please contact the Global Exchange Office for this.

※ the above is only possible for degree students. Research students and auditors cannot apply.

(8) Passport (lost or renewed)

If you lose your passport, you must go to the police and receive a “Certificate of the loss an article”. Then go to the embassy or council of your country in Japan and apply for the reissue. When you apply for a new passport you will need the police report number.

If your old passport had a ‘Re-entry Permit’ in it or if you are on a ‘temporary visitor’ status, you must take your new passport to the regional Immigration Bureau and have your ‘Re-Entry Permit’, “landing permission” stamp and status of residence transferred to your new passport.

Immigration Bureau HP <http://www.immi-moj.go.jp>

① Osaka Regional Immigration Bureau

Opening hours: 9:00~12:00 13:00~16:00 (Monday-Friday)

Address: 1-29-53 Nanko kita, Suminoe-ku, Osaka-shi, 559-0034

(Just in front of the Subway Chuo Line ‘Cosmo Square Station’)

For a map please see the reference material at the end of this Guidebook.

Tel: 06-4703-2100

② Immigration Information Center

Opening hours: 8:30~17:15 (Monday-Friday)

Tel: 0570-013904

From mobile phone

or abroad: 03-5796-7112

IMPORTANT

Do not forget to renew your visa before it expires and do not work without permission.

Both can lead to a revocation of your visa and possibly deportation.

2. Registration

(1) Obtaining a Resident Card

All foreigners who will remain in Japan for 3 months or longer and who arrive at Narita, Haneda, Chubu or Kansai Airport will receive a Resident Card upon their arrival in Japan. You need to bring a photo for use for the Resident Card (4 x 3 cm and taken within 3 months prior to submission).

If you arrive at another airport the Resident Card will later be sent to your registered address.

(2) Address Registration and Changes

Within 14 days of finding a place to settle down, you must go to the local City/Ward office with your Resident Card (or your passport in case you did not yet receive your Resident Card) to notify the authorities of your address.

In case you move address within the same city during your stay in Japan you need to go the City/Ward office of your new residence to register your new address within 14 days of moving.

In case you move address to another city during your stay in Japan you need to go the City/Ward office of your old residence before you move to obtain a 'moving-out certification' and you need to go the City/Ward office of your new residence to register your new address within 14 days of moving.

Please also notify your faculty/graduate school office and the Global Exchange Office of any of these changes (please use Form 1 at the end of this guidebook).

(3) Notification of Changes other than Address

For a

-Notification of a change of name, date of birth, gender, or nationality/region

-Application for re-issuance of a resident card

(In case the resident card is lost, stolen, severely damaged or defaced)

-Notification concerning the organization to which the applicant belongs, or the spouse

(Those who reside with an employment status or learning status such as "Student" status or with the status of spouse)

you need to go to the Immigration Bureau.

(4) Validity and Renewal

Your Resident Card will be valid until the expiration date of your visa.

(5) If you lose your Resident Card

If you lose your Resident Card you need to apply for a new one at the Immigration Bureau.

3. Necessary Procedures at city or ward office

(1) National Pension

All residents of Japan between the age of 20 and 60 must enroll in the Japanese National Pension. You must enroll at your city or ward office. If you are not a Japanese citizen, have paid at least 6 months National Pension premium and become ineligible for the National Pension because you permanently leave the country, you can claim a lump-sum payment within two years after your departure from Japan. For details, please consult the City/Ward office.

For more information:

<http://www.nenkin.go.jp/international/english/nationalpension/nationalpension.html>

(2) Social Security and Tax Number (My Number)

Each resident of Japan (including foreigners who will stay in Japan for more than 3 months) receives a 12-digit Individual Number (nicknamed "My Number"). You will receive a notification with your number after you have registered your address. Your Individual Number will be required for administrative procedures related to social security, taxation, and disaster response.

You can also apply for an Individual Number Card. The Individual Number Card will be convenient to use when you have to submit your information somewhere, but it is not compulsory to apply for one.

For more information: <http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/english.html>

4. Returning to your home country

Before leaving Japan, you need to go through many formalities. The most important required procedures are listed below for your reference. If you decide to leave Japan, please come by the Global Exchange Office so we can discuss what formalities you need to fulfill. Please don't forget to thank any people that have helped you during your stay in Japan, so you can maintain a long and friendly relation with them and play an active role in international exchange between your country and Japan.

(1) At the university <examples>

- Application for traveling expenses required for returning home (for Japanese Government Scholarship students).
- Scholarship declination (for Japanese Government Scholarship Student: earlier than three months prior to departure and for short-term JASSO scholarship recipients: earlier than two months prior to departure).
- Notice of completion of course funded by the scholarship, or notice that you won't reapply for the scholarship for the next term.
- Notice of intention to move out of the dormitory.
- Cancellation of residence liability insurance.
- Academic achievement certificates (transcript, degree certificate etc).
- Contact information after leaving Japan (address, telephone number, email address etc).
- Work place information and person in charge
- Informing academic societies of which you have been a member that you are leaving Japan.

(2) Outside the university <examples>

Residence

- Informing your landlord about your leaving date (One month before moving out)
- Informing your guarantor of your intention to depart Japan.
- Restoring your apartment to the condition in which it was leased.

Bank

- Canceling your accounts, cash card and automatic withdrawal service. Ask staff at your faculty/graduate school office about an appropriate time for account closure or who to give a mandate because some transactions may not be completed until after you leave Japan, such as receipt of scholarship and payment of utility bills.

Other cancellations

- Utility services such as electricity, gas, water, telephone and NHK subscription.

Ward office

- Cancellation of your national health insurance membership, return the insurance card and settle your payment at your ward office.
- School-related formalities for your child(ren).



Sending your luggage

- Surface-mail and airmail.

Garbage disposal

- Large waste and recyclable refuse should be disposed of correctly.

Mail forwarding service

- This service enables a designated person in Japan to receive your mail as delivered to your address in Japan for up to one year.

Other

- Informing your host family, scholarship sponsors and others about your departure and expressing your appreciation to them.

At the airport when you leave

- Return your Resident Card to the airport immigration officer.

If you left Japan on a re-entry permit, but have decided not to return, you have to send your Residence Card by post to: Odaiba Branch Office, the Tokyo Immigration Bureau Tokyo Port Joint Government Building 9F, 2-7-11 Aomi, Koto-ku, Tokyo 135-0064

※Please write “The residence card to be returned” on the face of the envelope

III. Daily Life in Japan

1. Housing

There are residential facilities owned by Osaka City University and international student support organizations. Since the number of applicants exceeds vacancies, there is no guarantee you will be accepted by any of these residential facilities. Many of them permit students to stay for one or two years. So once this period expires, you must find private accommodation. Available residential facilities are shown in the following table:

(1) Residential facilities for international students (as of March 2017)

Name	Application Period	Number of Rooms	Eligibility	Residence Period	Monthly Fee	Location
Osaka City University International Residence	Single rooms: Mid-January (residents are selected mid-March) Family rooms: selection takes place upon room availability	-29 single rooms -2 family rooms (researchers get priority)	International students (new privately financed degree students get priority)	Single rooms: max 1 year (you must leave before 28th of March) Family rooms: between 3 months and 1 year	Single rooms: 6,000JPY Family rooms: 15,000JPY	2-438 Higashi uenoshibacho, Kita-ku, Sakai-shi
Orion International House	Mid January (and when a vacancy occurs)	85 single rooms	Single privately financed student (repeated residence not permitted) (with Student visa)	Max 2 years	26,000JPY	2-226 Higashi uenoshibacho, Kita-ku, Sakai-shi
El Sereno	Early December (and when a vacancy occurs)	9 single rooms 1 family room	Privately financed student (with Student visa)	Min years needed for graduation at the time of moving in	18,100JPY ~47,200JPY (Depends on your income)	6-6 Kobaicho, Kita-ku, Osaka-shi
Uenoshiba Woman's Dormitory	February~ March (three rounds)	93 single rooms	Single female	Min years needed for graduation at the time of moving in	5,500JPY (water charge is included)	6-2-3 Uenoshiba mukogacho, Nishi-ku, Sakai-shi

The information in this list is subject to change. Contact: Global Exchange Office: 06-6605-3558

(2) Private housing

When you conclude a lease agreement, check the condition of the housing and the terms of the lease carefully to avoid trouble. During tenancy, you have to observe the terms of the lease and it is particularly important not to fail to pay the rent. Besides the rent, you are responsible for paying the electricity, gas, water and other utility charges. When you terminate the lease, you have to notify the landlord one month before the termination date. If you terminate the lease without notice or with notification after this period, the guarantee deposit (Shiki-kin) might not be refunded.

(3) Housing Guarantor System for International Students

When you rent an apartment in Japan, you will often be asked to have a joint-guarantor (rentai-hoshounin) who co-signs the lease to share liability with the lessee. This can be difficult for some students but it is hard to rent without a joint-guarantor.

Osaka City University can act as a joint-guarantor for international students (OCU graduate undergraduate, graduate and research students) who are unable to find a guarantor by themselves.

Conditions:

- ① The lessee on the contract must be the student him/herself (and student must be newly moving in).
- ② Only if a joint-guarantor is absolutely necessary.
- ③ Only if the student does not have any family in Japan who can act as guarantor.
- ④ Student must show to have sufficient income to pay the rent.
- ⑤ Student must inform the university each month when he/she has paid the rent
- ⑥ Student must take out a 'Comprehensive Renters' Insurance for Foreign Students Studying in Japan' of the Japan Educational Exchanges and Services.
- ⑦ The lessor must declare that he/she understood the limitations of the joint-guarantorship

* only possible for the period that the student is registered as a student at OCU.

* it is also possible to designate the university as emergency contact. For more information, please contact the Global Exchange Office.

Contact: Global Exchange Office: 06-6605-3558

(4) Others

Some private companies offer dormitories under the program to accept overseas students to company dormitories of the Corporate Friendship Network for Foreign Students. Check the OCU Portal Site and bulletin boards for vacancies.

Contact: Global Exchange Office: 06-6605-3558

2. Moving

When you move to a new place and want to use a moving service to transport your belongings, you can find them in a telephone directory or online. We recommend you ask several services to come to your place to give an estimate of the moving fee. Basically, an estimate is free of charge. The price depends on the volume of your belongings and distance to the new place. Choose the moving service best suited to your needs and budget by comparing the estimates and services provided. Some companies offer packing service at an extra charge. If you have just a few belongings, courier (Takuhaibin) may be cheaper to use.

When you move to a new place, you must terminate your current lease agreement (termination notice should be given to the landlord no later than one month before termination) and report your new address to your faculty/graduate school office and to the Global Exchange Office.

You must also do the following.

Procedure	Instruction
Resident Card address registration	In case you move address within the same city you need to go the City/Ward office of your new residence to register your new address within 14 days of moving. In case you move address to another city you need to go the City/Ward office of your old residence before you move to obtain a 'moving-out certification' and you need to go the City/Ward office of your new residence to register your new address within 14 days of moving. Please always bring your Resident Card.
National Health Insurance	Complete the foreign resident registration and sign up for the national health insurance at the City/Ward office in your new place within 14 days after relocation.
Utility charges	Contact electricity, gas and water service providers at least one week before moving to notify them the date of relocation. Follow the instructions of the provider to settle outstanding charges.
Bank	Notify your bank of your change of address.
Post office	If you notify the post office nearest to your old address, mail sent to your old address will be forwarded to your new address for one year (within Japan).

3. Daily Life

(1) Electricity

Voltage is 100V in Japan. There are two different electric frequencies in Japan (50Hz in east Japan and 60Hz in west Japan). The frequency in Osaka is 60Hz. Electricity is supplied by Kansai Electric Power Co. Ltd. Contact the nearest service office to begin using electricity.

Electricity might automatically shut down in case you use too much electricity at the same time. When that happens, turn off the electric appliances you were using and turn the breaker back on. In case of a blackout caused by lightning or other reasons, it may take some time for electricity to be restored.

Contact number of Kansai Electric Power Co. Ltd.:

Higashisumiyoshi Service Office (southern part of Osaka city): 0800-777-8022

Minamiosaka Service Office (Sakai city): 0800-777-8024

Homepage: <http://www.kepco.co.jp/>

(2) Gas

There are two types of gas in Japan; propane (in gas bottles) and utility gas. Utility gas is supplied by Osaka Gas Co. Ltd in the Kansai area. Contact Osaka Gas customer service to request for a service representative to come and open the gas valve. Someone must be at home at the appointed time. In case of emergencies such as a gas leak, contact Osaka Gas leak hotline.

Contact number of each services office:

Osaka Gas customer service center: Osaka city: 0120-0-94817, Sakai city: 0120-3-94817

Osaka Gas leak hotline: Osaka city: 0120-0-19424, Sakai city: 0120-3-19424

Osaka Gas Co. Ltd. homepage: <http://www.osakagas.co.jp>

(3) Water

Tap water supplied by municipal governments is safe to drink. Contact the waterworks division of the City Hall you live in. In case of water leakage, contact the Waterworks Bureau or a plumber.

Contact number of each waterworks division:

Osaka City: 06-6458-1132 (<http://www.city.osaka.lg.jp/contents/wdu030/english/>)

Sakai City (northern service center): 072-251-1132

(<http://water.city.sakai.lg.jp/foreignlanguage.html>)

* It is convenient to use the automatic transfer system of banks and post offices for utility payment. You can also pay the bill each month at banks, post offices and convenience stores.

(4) Garbage Disposal

Garbage trucks collect garbage at a designated place, time and day. The place, time and day for collection vary according to the area in which you live. Generally, garbage is classified into burnable items, unburnable items (plastic), recyclable items (glass bottles, aluminum cans, PET bottles) and large household items. You must follow the rules of the collection of your area. Since your building may also have its own rules for garbage disposal, you should also check those rules. As for disposal of large household garbage such as furniture or electrical appliances, you are required to pay a fee for recycling.

Contact number of Environment Divisions:

Osaka City (Southwestern Environmental center): 06-6685-1271

<http://www.city.osaka.lg.jp/contents/wdu020/enjoy/en/environment1.pdf>

Sakai City (Northern Environmental center): 072-228-7429

<http://www.city.sakai.lg.jp/english/visitors/handbook/garbage.html>

(5) Transportation

Sugimoto Campus can be easily accessed from JR Sugimotocho Station on the JR Hanwa Line. The JR Hanwa Line runs from JR Tennoji Station. The east exit of JR Sugimotocho Station is right in front of Sugimoto Campus. By subway, the nearest station is Abiko on the Midosuji-line. The subway Midosuji Line runs north and south through the center of Osaka, linking Shin-Osaka, Umeda and Namba. Abiko subway station is about a 20-minute walk to the Campus.

The station nearest Abeno Campus is Tennoji which is about a 10-minute walk. You can reach Tennoji on JR Lines, Subway Lines and Kintetsu Lines.

【Student Discount system】

There are two kinds of discount passes available for railway, subway and bus services. Undergraduate and graduate students can purchase discounted student passes. Research students and auditors can purchase commuter passes.

(6) Telephone

① Mobile phone

Each mobile phone company has its own services and prices. You can get information at mobile phone shops.

② Public phone

For domestic calls, you can use a public phone by inserting 10 yen, 100 yen and telephone cards. For international calls, prepaid cards exclusively for international calls are available at convenience stores.

③ International calls

【Dial systems for international calls】

You can place an international call by dialing +010 + country number + area number + individual number.

【International call through operator】

Access an operator by dialing KDDI (0051).

(7) Bank

By opening an account at a bank, you have the convenience of money deposits, transfers, automatic withdrawals for public utilities and credit card payments.

* Opening Hours

Office	Monday to Friday	9:00~15:00
ATM	(ATM service hours vary per bank. Recently, many convenience stores have ATMs available, but there is usually a service charge.)	

① Opening a bank account

The procedures to open an account may vary per bank. In general, if you live in Japan you will be able to open a bank account upon submitting an application form, but there may be limitations. Please confirm the details with the bank.

② Automatic payment of utility bills

Automatic payment of utility bills, such as electricity, gas, water, telephone and NHK subscription is available via banks and post offices. To apply for this service, go to your bank and present your bankbook or bank pass together with an application form filled in with your customer or membership number (you can probably find that on an invoice) and your seal/hanko or signature (the same one you used when you opened the account) on the application form.

③ ATM service

With your cash card you can use ATMs to withdraw, deposit or transfer money. For all actions you will need to input your 4-number PIN (Personal Identification Number), so make sure to remember it. For security reasons never give your PIN number out to anyone else and when you choose your PIN number, make it difficult for others to guess the numbers. To use an ATM, follow the instructions on the screen. Unfortunately not all ATMs have English guidance. If you are not sure, please ask the help of a bank staff member.

④ Money transfer

To transfer money by bank, you need to fill out an application form with the name of the bank to which you send the money, the bank's location, the type and number of the receiver's account, their name and address. Overseas money transfer service is also available, but may need more paperwork.

You can also use the ATM of your bank to transfer the money. In that case, follow the instructions on the screen. The information you will need to carry out the transfer is the same as above, except you do not need the address of the receiver.

A handling fee is charged for money transfers.

⑤ Exchange foreign currencies

You can exchange foreign currencies and cash your traveler's checks at designated banks bearing the sign "Authorized by Treasury Department" (財務省認可両替商) and at some post offices.

(8) Postal Service

Post offices offer not only postal service but also postal savings and life insurance services. Their emblem is ㊦ (Red sign).

Opening hours vary per post office, but they are generally from 9:00~17:00 on weekdays.

Some of the bigger post offices have a counter open in the weekends or nights as well.

Japan Post Service Center: 0120-232886, English: 0570-046-111

Monday to Friday 8:00~22:00

Weekends and National holidays 9:00~22:00

<http://www.post.japanpost.jp/english/index.html>

① Financial Service

You can open an account at Japan Post Bank with a similar procedure as required by other banks. You can also use an automatic payment service for utility bills. Japan Post Bank ATM cards cannot always be used at ATMs of other banks.

② Domestic mail

Postage for a post card is 52 yen. If you buy a "kansei" (postage paid) post card, a stamp is not needed. Postage for a standard size (letter is 82 yen (up to 25g) and 92 yen (up to 50g). Additional postage is necessary for non-standard size letters, express mail and registered mail.

【Express mail (Sokutatsu)】

This (paid) service gives your mail delivery priority. You can request this service at the counter of a post office. Or you can write 《速達》 in red next to the address. In that case, make sure the extra postage is sufficient.

【Registered Mail (Kakitome)】

When you need to send valuable documents or items, you can choose to send them by Registered Mail (paid service). You have to request this service at the counter of a post office. With registered mail, the entire delivery process from acceptance of mail at the counter to delivery to the address is recorded. In case registered mail is damaged or lost while being handled by the post office, you will be indemnified for the amount of actual loss within the limit of the insured value.

③ International mail

Postage for an airmail postcard to anywhere in the world is 70 yen; that for a standard size letter is 90-130 yen depending on weight (up to 25g) and destination. EMS (Express Mail Service) up to 500 gram for example is between 1,400 and 2,400 yen.

If a letter or parcel for which you have to sign arrives at your house when you are not in to

receive it, the mailman will leave a notice in your mailbox. You can have it re-delivered or pick it up at the post office. Follow the instructions on the notice.

(9) Home Delivery Services “Takuhaibin”

When you want to send packages and goods within Japan it can be convenient to use home delivery services. Sometimes they are cheaper and faster than regular mail. Usually, packages and goods can be delivered in one day. Some service companies also offer delivery of refrigerated items.

① Domestic delivery

Both post offices (“Yu-pack” service) and other private home delivery companies offer these services. “Yu-pack” can be sent from a post office or stores with a “Yu-pack” sign. Other home delivery services are provided at convenience stores and other stores with a home delivery company sign. Prices depend on size, weight and distance to the destination. Some items cannot be delivered, please ask for more details at a store.

② International delivery

Post offices and private home delivery companies provide international home delivery service. It is recommended to compare them and choose the most suitable service. Please note that some countries have restrictions or limitations on items that can be imported.

Company	Contact No and Office hours
DHL Japan	TEL: 0120-39-2580 (toll free, English available) Monday to Thursday: 8:00~19:00 Friday & the day before National holidays: 8:00~20:00 Saturday & National holidays: 8:30~14:00 Closed on Sundays http://www.dhl.co.jp/en.html
FedEx	TEL:0120-003200 or 043-298-1919 Monday to Friday: 8:00~19:30 Saturday: 8:30~17:30 National holidays: 8:30~14:00 Closed on Sundays http://www.fedex.com/jp_english/
OCS (Osaka branch)	TEL: 0120-627-012 Monday to Thursday: 8:30~19:00 Friday & the day before National holidays: 8:30~20:00 Saturday: 9:00~16:00 Closed on Sundays and National holidays http://www.ocs.co.jp/
UPS	TEL: 0120-27-1040 (toll free) Monday to Friday: 9:00-18:30 Closed: Saturday, Sunday and National holidays http://www.ups.com/content/jp/en/contact/index.html

(10) Shopping

① Convenience stores “Konbini”

Convenience stores can be found on almost every corner and are usually open 24 hours throughout the year. Most of what you need for daily life can be purchased there but generally prices are a bit higher than in supermarkets. You can also make photocopies, send packages via home delivery service and pay utility bills. Convenience stores also provide many other services.

② Supermarkets “Super”

Supermarkets offer foods, cloths, daily necessities and sometimes electrical appliances at reasonable prices.

③ Retail chain stores

There are many large-scale retail chain stores. Some large-scale electrical appliance stores offer products at quite low prices.

④ Department stores

Department stores offer higher quality products than supermarkets. Prices are also higher. There are many department stores near terminal stations such as Umeda, Namba, and Tennoji.

(11) Newspapers

Asahi Shimbun, Mainichi Shimbun, Yomiuri Shimbun, Sankei Shimbun and Nihon Keizai Shimbun are national newspapers. Newspapers are available at kiosks in train stations and convenience stores. There are also English newspapers, such as The Asahi Shimbun, The Japan News, The Mainichi and The Japan Times. You can (partly) read these on the internet and also apply for a subscription through the internet.

* Websites

Asahi Shimbun	http://www.asahi.com/english/	Mainichi Shimbun	http://mainichi.jp/english/
The Japan News by the Yomiuri Shimbun	http://the-japan-news.com/	Nikkei Asian Review	http://asia.nikkei.com/
Japan Times	http://www.japantimes.co.jp	Sankei Shimbun	http://www.sankei.com/ (only in Japanese)

(12) TV and Radio

If you have a television in your household, you need to pay a basic NHK subscription fee (a discount is available for those paying fees for a certain period at one time).

Terrestrial analog TV broadcasting was discontinued from July 2011. To watch the standard TV channels you need a TV (and cable etc.) that can receive digital broadcasts.

NHK and other private companies also provide additional satellite (BS, CS) and cable broadcasting services at extra fees. If you have a TV set or VC equipped with a sound multiplex system, you can watch programs in English if they are broadcast bilingually.

Radio FM CO.CO.LO (76MHz) broadcasts in multiple languages at different times during the day. For more information, check the FM CO.CO.LO homepage:
<http://cocolo.jp/pages/timetable.php>

(13) Drivers license, Automobiles and Bicycles

① Driver's license and automobiles

Those with an international driver's license "B" are allowed to drive a car in Japan (for a maximum of one year). You need to carry both the international and your original license with you when driving. A license "A" is required for riding motorcycles including a motorized bicycle (Gentsuki).

To obtain a Japanese driver's license, you need to have your driver's license from your home country translated (possible at JAF: http://www.jaf.or.jp/inter/translation/index_e.htm) and then apply for a Japanese license at the:

Kodama Driving Test Venue (Kodama Unten Menkyo Shikenjo): 06-6908-9121,
or Komyoike Driving Test Venue (Komyoike Unten Menkyo Shikenjo): 0725-56-1881

English explanation:

https://www.police.pref.osaka.jp/17language/english/01sogo/kotsu/05/tetsuzuki18_1.html

Access maps: <http://www.police.pref.osaka.jp/08tetsuduki/menkyo/access/index.html> (only in Japanese)

Although secondhand cars are relatively inexpensive to purchase, you must secure a place to park before registration which is difficult in most apartments. Even if you can find a parking place in your neighborhood, parking fees are quite high. Automobile insurance is compulsory. If you drive without automobile insurance and an accident happens, you will find yourself in a very difficult situation. In principle, the university prohibits students from driving cars and motorcycles onto the campus. You are encouraged to use a bicycle or public transportation, unless you have special reasons.

② Bicycles

You have to register your bicycle when you purchase it in case of theft. If the shop where you purchase the bicycle doesn't have the registration process, you need to go to a police station for registration. Make sure to lock up your bicycle when leaving it unattended. If your bicycle is stolen, report it to the police immediately.

To park your bicycle at the university, you have to buy a sticker (valid for 1 year) and visibly attach it to your bicycle. To obtain a sticker download the application form from the OCU Portal Site, purchase a bicycle registration certificate from the certificate issuing machine and bring the form, bicycle registration certificate and a certificate of enrollment to the Student Support Center counter.

Note: From 1 July 2016, Osaka Prefecture has made it mandatory for people owning or riding a bicycle to have a liability insurance. You can either purchase liability insurance



that covers personal liability in your daily life, or you can purchase special 'Bicycle insurance'. Liability insurance may already be included in other insurances that you have (for example in your fire insurance), but you have to confirm this yourself.

IV. In Case of Emergency

1. In case of an emergency, call:

110 for police (in case of a robbery or theft etc.)

119 for ambulance or fire brigade

These emergency numbers are the same in whole Japan and are free to dial from any phone, including your mobile phone (so you can call emergency numbers even if you have a prepaid phone without any credit left).

In all emergencies it is important to stay calm.

(1) Emergency health problems

When urgent medical treatment is necessary, call 119 to ask for an ambulance. Report where you are, what happened, your name and your telephone number etc. If you call from a pay phone, just pick up a handset and push the emergency button; coins or telephone card are not necessary. If you call from a mobile phone, don't turn off the power after the report. If you are driving, stop the car at a safe spot to call the emergency number. Ambulance personnel have check lists for symptoms in 15 languages so if you are asked questions, please cooperate.

Medical Institutes at Night and on Holidays

There are institutes open for emergency health care on Sundays, National holidays, Year-end/New Year holidays, and at night. You must bring your health insurance card with you. The following table is a list of such emergency institutes.

【Osaka City Chuo Emergency Medical Care Center】 4-10-13 Shinmachi, Nishi-ku, Osaka, TEL : 06-6534-0321		
Internal medicine / Pediatrics (children)	Monday-Friday	22:00-5:30
	Saturdays (except national holidays & year-end/New Year)	15:00-5:30
	Sundays / national holidays, year-end/New Year holidays (Dec.30-Jan.4)	17:00-5:30
Ophthalmology (eye), otolaryngology (ear, nose, and throat)	Monday-Friday	22:00-0:30
	Saturdays (except national holidays & year-end/New Year)	15:00-21:30
	Sundays / national holidays, year-end/New Year holidays (Dec.30-Jan.4)	10:00-21:30

【Osaka City Nakano Emergency Clinic】		
2-20 Nakano, Higashi-sumiyoshi-ku, Osaka, TEL : 06-6705-1612		
Internal medicine	Sundays / national holidays, year-end/New Year holidays (Dec.30-Jan.4)	10:00-16:30
Pediatrics	Monday-Friday	20:30-23:00
	Sundays / national holidays, year-end/New Year holidays (Dec.30-Jan.4)	10:00-16:30

【Sakai Shukuin Emergency Medical Care Center】		
3-2-6 Kaisochou, Sakai-ku, Sakai, TEL : 072-223-6170		
Internal medicine / Pediatrics	Sundays / national holidays	09:00-11:30 12:45-16:30

【other After-Hours Emergency Medical Care Centers】	
Osaka Miyakojima	1-24-23 Miyakojima-Minami-dori, Miyakojima-ku TEL: 06-6928-3333
Osaka Nishi-Kujo	5-4-25 Nishi-Kujo, Konohana-ku TEL: 06-6464-2111
Osaka Juso	1-11-26 Juso-Higashi, Yodogawa-ku TEL: 06-6304-7883
Osaka Imazato	3-6-6 Oimazato-Nishi, Higashinari-ku TEL: 06-6972-0767
Osaka Sawano-cho	2-2-6 Sentai, Sumiyoshi-ku TEL: 06-6672-6021

If you are not sure which medical institute is available call the following number:

Osaka Prefecture Medical Facilities Information Center: 06-6693-1199

http://www.pref.osaka.lg.jp/iryo/medicalinfo/20_index_English.htm

You can find information on hospitals where English (or other languages) is spoken here:

http://www.jnto.go.jp/eng/arrange/essential/emergency/mi_guide.html#search

(2) Fire

① To prevent fire

- Make sure to extinguish all flames and cigarettes before going to bed or leaving home.
- Cigarettes are a very common cause for fire, so make extra sure to extinguish them properly.
- Do not place burnable items outside of your residence.
- Use heating systems properly.
- Have a fire extinguisher at your home.

② In case of fire

- Call 119 immediately and report the location, your name and telephone number.
- Alert neighbors loudly about the fire (shout 'Kaji').
- If you are surrounded by smoke, place a towel over your nose and mouth during evacuation.

[In case of a fire at the university, please do the following:]

Notify people

- Shout Fire / Kaji to notify those near you.
- Report the fire to the nearest security or administration office.
- If it is not possible to put out the fire, call 119
- When you push the emergency bell, an alarm will sound, hydrant pumps will start working and the location will automatically be reported to the security office.

Try to put out the fire (for as much as possible)

- Try to put out a beginning fire with a fire extinguisher, bucket etc. University staff will also come to fight the fire, please follow their instructions.
- Turn off any gas valves, keep a safe distance, turn off electricity and move away burnable goods from the fire.
- In case your clothes catch fire, try to extinguish the flames using your hands or anything available. Rolling on the ground can also help to extinguish the flames.
- If you close the fire doors in the corridor, notify people in a loud voice and make sure there are no people left inside.

How to use a fire extinguisher:



Escape safely

- If the ceiling catches fire or if any gas valves are burning, stop trying to put out the fire and escape as quickly as possible.
- When evacuating follow directions of university staff. If any people have been left behind, immediately notify university staff.
- Indoor staircases will fill with smoke and are dangerous. Whenever possible, use outdoor staircases.
- Do not use the elevator.
- If there is smoke or gas, hold a handkerchief over your nose and mouth, stay low and move on hands and knees in the same direction as the smoke is going.
- If it is impossible to use the emergency stairs or ladders, open a window and shout for help.
- Do not leave the evacuation area until your safety has been unmistakably confirmed by university staff.

(3) Earthquake

Earthquakes occur frequently in Japan. You should always be prepared.

① Advance preparations

- Secure furniture to the wall with a clasp (available at department stores, furniture shops, metal shops etc.).
- It is recommended to keep a portable radio, flashlight, candles etc ready at home in case of power failure.
- Make sure to have a small backpack with drinking water, food, first aid kit, some clothing, cash money and important documents (or copies) ready to pick up and take with you easily.
- Identify where the emergency evacuation site is in the area where you live and work.

② What to do in case of an earthquake if you are inside

- Duck under something such as solid desk.
- Move away from things that might fall over, windows and other glass.
- Don't run out in a panic as there is the danger of being hit by falling debris.
- Extinguish open flames, and turn off the gas (if possible the main valve) and pull the plugs of any heat producing household appliances.
- Open at least one window or door to secure an exit.
- Try to stay as calm as possible and protect your head during evacuation.

③ What to do in case of an earthquake if you are on public transport

- Prepare for an emergency stop.
- When the vehicle stops, do not exit the vehicle until instructed to do so by a staff member. Especially in subways the high-voltage poses a serious danger.

- ④ What to do in case of an earthquake if you are underground
- Do not run out in a panic. Stay close to strong columns or walls and follow instructions from staff members.
 - If there is an electric outage be assured that the emergency lights will come on right away.
 - Try to put out any fires using emergency fire extinguishers.
 - In case of fire there is a danger of smoke and gas. Hold a handkerchief over your nose and mouth, stay low and move on hands and knees along walls in the same direction as the smoke is going.
- ⑤ What to do in case of an earthquake if you are outside
- Do not stop and stay exactly where you are. Cover your head with your bag or clothes and move away to a clear area, park or solid building. Be careful of falling objects.
 - Try to stay clear of walls, vending machines, telephone poles and other things that might fall over or collapse.
 - Stay away from fallen electricity lines.
 - As river banks, cliffs etc. might give in, stay away from them as much as possible.
 - Be careful of cracks and holes in the ground.
- ⑥ What to do in case of an earthquake if you are near water
- Tsunami can occur even after small earthquakes. Evacuate immediately to the 3rd floor or higher of a nearby building.
 - Do not try to escape by car.
 - Tsunami can consist of recurring waves. Stay away from the water until the tsunami warning has been lifted.
- ⑦ What to do in case of an earthquake if you are at the university
- 【When inside classrooms etc.】
- Do not run out in a panic. Duck beneath a desk.
 - If people around you panic, tell them to calm down and sit beneath a desk.
 - If there is nothing to hide underneath, try to stay away from moving objects, cover your head with a bag or clothes and try to avoid falling objects.
 - Flying glass from breaking windows is a danger. If possible close blinds or curtains and keep at a distance from windows.
 - If you are near a door, open it to secure an exit.
 - If you are in a gymnasium, duck in a safe place and be careful of falling objects.
- 【During experiments】
- Tell everyone to turn off any flames and do so yourself. Pull electric plugs. Close gas bottles. However, if it is a large earthquake and it is impossible to turn off a flame, first try to secure your own personal safety.

- In the case of a fire, university staff will take charge. Please follow their instructions and evacuate when the shaking stops.

【When in corridors or on stairs】

- Stay away from the walls and try to go into a classroom and hide beneath a desk.
- If there are no reachable classrooms, cover your head with a bag or clothes and stay away from underneath TL-lights.
- Try to proceed to a safe place.

【When in an elevator】

- Push the button for the nearest floor and get off at that floor.
- If stuck in-between floors, press the emergency button and ask for help.

【When outside】

- Move away from buildings, walls and electric lines.

【How to evacuate】

- Follow the instructions of staff members. Stay calm and do not rush at doors. Calmly gather people and evacuate together.
- Because of the risk of aftershocks, stay away from buildings and evacuate to an open space.
- Evacuate as quickly as possible, but be careful of falling objects, collapsing shelves, level differences and holes.
- Evacuate on foot and limit luggage as much as possible.
- Help wounded persons to evacuate.
- If there are any people seriously wounded or not able to evacuate notify a staff member.
- Inside classrooms walk close to walls, in corridors walk in the middle. Do not use elevators but use the stairs to evacuate.
- If the electricity is out, follow the green emergency exit signs.
- After arriving at the evacuation space, help wounded people until doctors arrive.

【After evacuation】

- Obtain and follow information on radio, TV, internet, mobile phones. Do not spread any incorrect information or rumors that could lead to panic.
- After securing your own safety, assist with nearby firefighting, rescue efforts, distribution of emergency goods or nursing of wounded people.
- A coordination office will be established at the university and will collect the necessary information.

(4) Traffic accident

Beware when you are walking or driving to avoid traffic accidents. If you encounter a traffic accident and anyone is injured, call 119 to ask for an ambulance immediately. Next, call 110 to report the accident to the police.

If you are involved in the accident, ask the other party's name, place of work, telephone number, license plate number and insurance status. Also ask anyone who witnessed the accident their

name and telephone number. Follow the instruction of the police at the scene.

National health insurance does not cover medical costs in connection with traffic accidents. Those medical costs are reimbursed later from the voluntary insurance maintained by the party found to be responsible for the accident. If possible, try to get a police report of the accident. If any trouble relating to the accident happens, contact the Traffic Accident Consultation Section of the City Office.

(Osaka City: <http://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000004815.html#3>, 06-6208-8008

Sakai City: <http://www.city.sakai.lg.jp/minami/kurashi/madoguchi.html>, 072-228-7403)

(5) Robbery

If you are the victim of a robbery or other crime outside of the campus, call 110, give them the location, your address, name, telephone number, describe the situation and follow the instructions given by the police. In case of a robbery on campus, please contact the nearest administrative or security office and your host scholar immediately. If you are robbed (or lose) credit cards, bankbooks or cash cards, report the loss to the bank and credit card companies to block your accounts. Always report it to the police

(6) Typhoon

From July to October, many typhoons hit Japan. When a typhoon nears your area, try to stay inside as much as possible, and certainly do not go out hiking, mountaineering, fishing, or do any water sports. Please stay away from rivers, coast or other water areas and try to stay informed about the situation via weather reports on TV/radio. In lowland areas near water, houses might become flooded.

Advance preparations:

- As there might be power failures, keep a portable radio, flashlight, and other emergency items ready.
- Items on the porch and veranda may be blown away by strong winds. Take them inside or fix them firmly.
- As there might be suspensions in water supply, keep a few days' worth of water.
- Do not go out unless necessary and listen to weather and news reports.



V. Various notifications

- * Notification of change of any kind Form 1
- * Temporary exit from Japan Form 2
- * Report of part time job Form 3

留 学 生 各 種 変 更 届

Notification of change of any kind

平成 年 月 日
Date: year month day

国際センター所長 様
To: Director of the Global Exchange Office

(住所・電話番号・携帯電話番号・在留資格・在留期間)に変更があったので届出します。
(Submit in case of changes in address, telephone number, residence status, residence period)

学部・研究科名 _____
Faculty/Graduate School
学 年 _____
Year of study
氏 名 _____
Name

(変更内容) (Changes)

変更項目 Subject	区分	変 更 内 容 Contents
住 所 Address	旧 old	〒 -
	新 new	〒 -
電 話 番 号 Telephone number	旧 old	
	新 new	
携 帯 電 話 番 号 Mobile number	旧 old	
	新 new	
在 留 資 格 Residence status	旧 old	
	新 new	
在 留 期 間 Residence period	旧 old	平成 年 year 月 month 日 day ~
	新 new	平成 年 year 月 month 日 day ~
	新 new	平成 年 year 月 month 日 day
そ の 他 Other ()	旧 old	
	新 new	

* 変更項目だけ記入してください。 * Only fill in items which changed



(様式 2 /Form 2)

一時出国届

Temporary exit from Japan

平成 年 月 日
Date: year month day

国際センター所長 様

To: Director of the Global Exchange Office

下記のとおり一時出国しますので届出します。

I will be temporarily leaving Japan for the period specified below.

学部・研究科名 _____

Faculty/Graduate School _____

学 年 _____

Year of study _____

氏 名 _____

Name

項 目 Subject	内 容 Contents
出 国 先 Country of destination	
出 国 期 間 Period of absence	平成 年year 月month 日day () から (from) 年year 月month 日day () まで (to)
出 国 目 的 Purpose of travel	
出国期間中の 緊急連絡先 Emergency contact information	

(緊急連絡先が本人以外の場合は、本人との関係を明示して下さい。)

(if the emergency contact is another person, please clarify the relationship)



資 格 外 活 動 (報 告 ・ 変 更) 書

Report of part time job

平成 年 月 日
Date: year month day

国際センター所長 様
To: Director of the Global Exchange Office

学部・研究科名 _____
Faculty/Graduate School
学 年 _____
Year of study
氏 名 _____
Name

以下のとおり (決定 ・ 変更) しましたので、報告します。

I hereby inform about the following (decision · change) regarding my permission to engage in activity other than that permitted under the Status of residence previously granted

項 目 Subject	内 容 Contents
資格外活動許可番号 permission number	
資格外活動許可期間 permission period	平成 年year 月month 日dayまで (until)
勤 務 先 Place of employment	(企業名等) (company name) (所在地) (address) (電話番号) (tel. nr.) (期 間) (period) 平成 年year 月month 日day～平成 年year 月month 日day (週間勤務時間) (Hours per week) ・ 平日 weekdays: 時～ : 時 (時間hours) ・ 土曜 Saturdays : 時～ : 時 (時間hours) ・ 日曜 Sundays : 時～ : 時 (時間hours) 合計total 時間hours (業務内容) (outline of work)

*資格外活動許可書の写しを添付してください。*Please attach a copy of the permit



VI. Other reference materials

(1) **Osaka Regional Immigration Bureau**

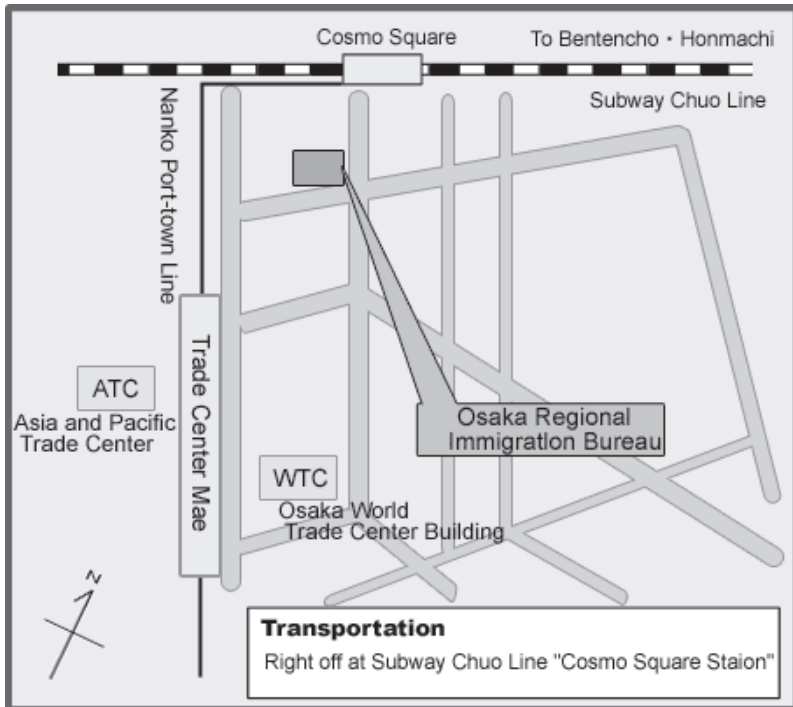
Address: 1-29-53 Nankou Kita, Suminoe-ku, Osaka-shi, Post Code: 559—0034

Tel: 06-4703-2100 (Switchboard)

03-5796-7112 (Immigration Information Center)

Transportation: Located next to Subway Chuo Line ‘Cosmo Square Station’

<http://www.immi-moj.go.jp/english/soshiki/kikou/osaka.html>



(2) Osaka International House Foundation

Address:

8-2-6 Uehonmachi,
Tennoji-ku, Osaka-shi

Post Code: 543-0001

Tel: 06-6773-8182

URL: <http://www.ih-osaka.or.jp>

Transportation:

5 min walk from Kintetsu Line

'Uehonmachi Station' (Exit 10).

10 min walk from Subway

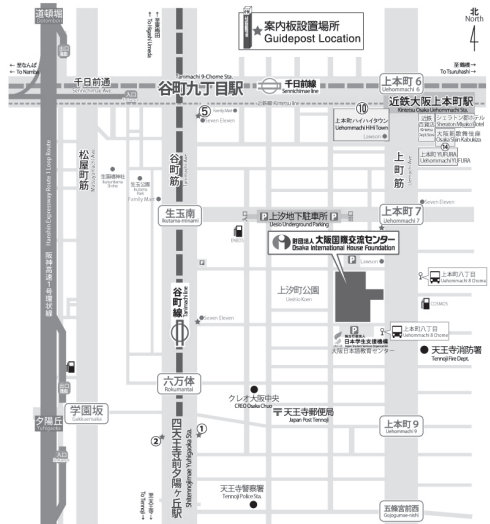
Tanimachi Line/
Sennichimae Line

'Tanimachi 9-chome Station'
(Exit 5).

10 min walk from Subway

Tanimachi Line

'Shitennoji-mae Yuhigaoka Station'
(Exit 1 and 2).



(3) Osaka Foundation of International Exchange

Address:

5th Floor, MyDome Osaka, 2-5

Hommachi-bashi,

Chuo-ku, Osaka-shi, 540-0029

TEL : 06-6966-2400

URL: <http://www.ofix.or.jp>

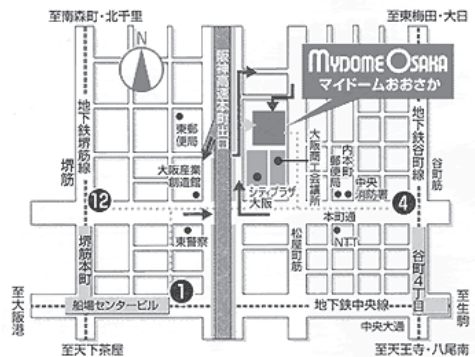
Exit 1 or 12 of Sakaisujihommachi
Station

(Chuo Line/Sakaisuji Line,
Osaka Subway)

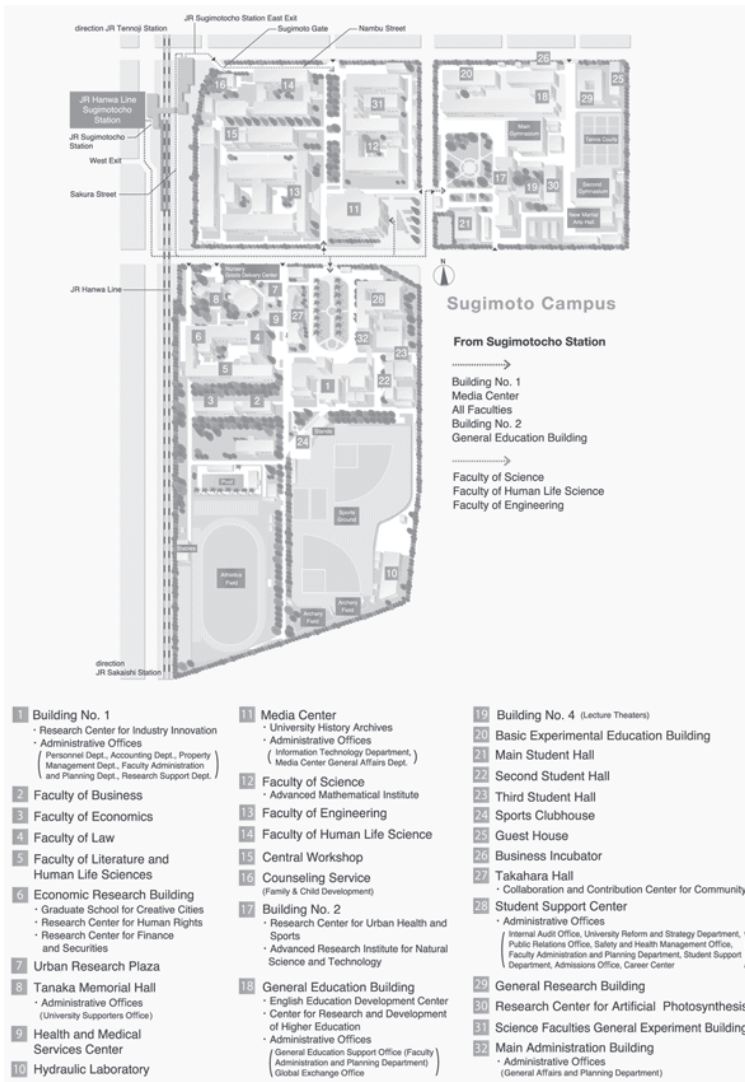
Exit 4 of Tanimachi4-chome

Station

(Tanimachi Line, Osaka Subway)



(4) Campus Map



[Sugimoto Campus]

The main campus lies along the Yamato River on the south edge of Osaka, a 5-minute walk from Sugimoto-cho Station on the JR Hanwa Line. Along with the new Media Center and Library, the campus has ample facilities for sports and recreation.

【Abeno campus】

(Medical School, School of Nursing and University Hospital)

The Abeno campus, site of the university's medical teaching and research facilities, is located west of Tennoji Station on the JR and Subway Midosuji Lines, and also west of Abenobashi Station on the Kintetsu Osaka Line.

Abeno Campus

1-4-3 Asahimachi, Abeno-ku, Osaka-shi,
545-8585 JAPAN

- 1** Faculty of Medicine
- 2** University Hospital
- 3** Faculty of Medicine South Building
- 4** Medical Science Information Center (6F)
- 5** Medical Staff Education Center (7~9F)
- 6** Medical Library (8~9F)
- 7** School of Nursing



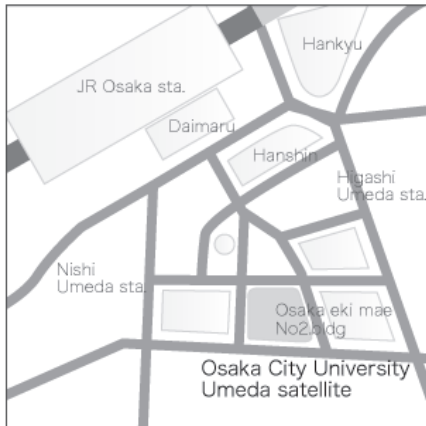
【Umeda Satellite】

Access by Public Transport

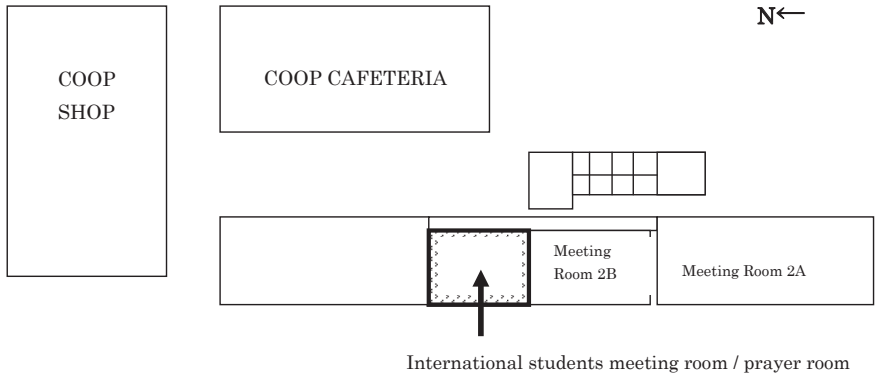
1 min. walk from North Shinchi station (JR Tozai Line).

3 min. walk from Umeda/Nishi Umeda/Higashi Umeda station (Subway),

Umeda station (Hanshin Line), Osaka station (JR Line).



Dai 2 Gakusei Hall (2nd Floor)



Location	Organization and Administration	Contact
Sugimoto Campus	Global Exchange Office	06-6605-3558
	Student Support Department (student life related)	06-6605-2103
	Student Support Department (study related)	06-6605-2101
	Business Faculty and Graduate School	06-6605-2201
	Economics Faculty and Graduate School	06-6605-2251
	Law Faculty and Graduate School	06-6605-2303
	Literature and Human Sciences Faculty and Graduate School	06-6605-2353
	Science Faculty and Graduate School	06-6605-2504
	Engineering Faculty and Graduate School	06-6605-2651
	Human Life Science Faculty and Graduate School	06-6605-2803
	Creative Cities Graduate School	06-6605-3507
Research Center for Human Rights	06-6605-2035	
Abeno Campus	Medical School and Graduate School of Medicine	06-6645-3611
	School of Nursing and Graduate School of Nursing	06-6645-3511
Umeda Satellite	Creative Cities Graduate School	06-4799-3700

Sugimoto Campus

Address: 3-3-138 Sugimoto Sumiyoshi-ku, Osaka-shi, 558-8585 JAPAN

Transportation: 5 min. walk from JR hanwa Line 'Sugimoto-cho Station'.

20 min.walk from Subway Midosuji Line 'Abiko Station'.

Abeno Campus

Address 1-4-3 Asahimachi, Abeno-ku, Osaka 545-8585 JAPAN (Medical School).

Transportation: 10 min. walk from JR Hanwa Line and Subway Midosuji Line 'Tennoji Station',

10 min.walk from Kintetsu Osaka Line 'Abenobashi Station'.

Umeda Satellite

Address 1-2-2-600 Umeda, Kita-ku, Osaka-shi, 530-0001 JAPAN

Transportation 1 min. walk from JR Tozai Line 'North Shinchi station',

3 min. walk from Subway,'Umeda/Nishi Umeda/Higashi Umeda station', Hanshin Line 'Umeda station', JR Line 'Osaka station'

OCU GUIDEBOOK FOR INTERNATIONAL STUDENTS

Global Exchange Office, April 2017

Sugimoto 3-3-138, Sumiyoshi-ku, Osaka 558-8585

TEL 06-6605-3452 / FAX 06-6605-3592

E-MAIL kokusai@ado.osaka-cu.ac.jp

Disclaimer: The information in this guidebook is subject to change during the academic year. No rights can be derived from the information presented in this document.